

第 32 号

編集発行

園田学園大学

シニア専修コース

「けやき便り」

編集クラブ



新しい学びの時代に向けて

園田学園大学 学長補佐

社会連携センター センター長 能島 裕介

人生 100 年時代が現実のものとなりつつある今、私たちはこれまでの人生設計を根本から見直す必要に迫られています。リンダ・グラットン教授が著書『LIFE SHIFT』で指摘するように、かつての「教育→仕事→引退」という三段階の人生モデルはもはや時代遅れとなり、多様で柔軟な「マルチステージ型」の人生が主流となりつつあります。

この変化の中で、カギを握るのが「無形資産」の形成です。生産性資産（知識やスキル）、活力資産（健康や人間関係）、変身資産（自己変容力や柔軟性）といった要素を、自覚的かつ継続的に蓄積していくことが、長寿社会を生き抜く上での核心となります。

生涯学習は、これらの無形資産を育む最も有効な手段です。年齢や職業にかかわらず、自らの関心や課題に即した学びを継続することは、知的好奇心の充足だけでなく、社会との接点を保ち続けるための力ともなります。特に大学という場での学びは、他者との対話や異なる視点との出会いを通じて、自己を拡張し続けるための貴重な機会です。

「けやき便り」に寄せられた文章の一つひとつが、その実践の記録であり、思索と対話の痕跡でもあります。書くこと、伝えること、学び続けること—これらはすべて、これからの人生を「自分らしく」デザインしていくための営みです。

今後も、学びを通じて未来を切り拓く力を、ともに培っていきましょう。この文集が、その旅路の小さな道しるべとなることを願っております。

――

と、ここまで巻頭言をお読みいただいた皆様に種明かしをしなければなりません。実はここまでの文章はすべて AI が作成しました。過去のけやき便りのバックナンバーを読み込ませ、巻頭言を書くように指示しました。作成時間は約 30 秒。もう時代はここまで来ました。このような時代に真の学びとはなにか。学ぶことの価値とはなにか。人はなんのために学ぶのか。それをシニア専修コースのなかで掘り下げていただければと願っています。真の学びの世界へ、ようこそ。

目 次

新しい時代に向けて……………園田学園大学 社会連携センター長	能 島 裕 介	P1
目 次……………		P2
先生方からのメッセージ……………講師の先生方		P3～P6
〈特別寄稿〉歴史の素材・関心・契機はどこにでも……………(文歴)先生	原 朋 志	P7
〈特別寄稿〉多文化共生について……………(国際)先生	山 崎 浩 平	P8
〈特別寄稿〉情報を活用するって……………(情報)先生	米 田 浩	P9
令和7年度入学式・令和6年度卒業式……………編 集 ク ラ ブ		P10
新入生誌上座談会……………編 集 ク ラ ブ		P11・P12
卒業生からのメッセージ……………(情報)・(国際)・(文歴)	卒 業 生	P13～P15
このひとにインタビュー《文歴3年 油川雅英さん》……………編 集 ク ラ ブ		P16
京都『哲学の道』の整備をめぐる意見対立 ……………国際 3 年	飯 田 光 治	P17・P18
漢詩を学ぶ(その四)『原爆行』……………研 究 生	松 原 光 治	P19・P20
尼崎市内の歴史ある建築物をたずねて……………研 究 生	高 山 純 子	P21・P22
ベトナム紀行……………国際 3 年	奥 野 嘉 彦	P23・P24
「大阪・関西万博」楽しんでいま～す！……………研 究 生	大 林 泰 子	P25・P26
大阪・関西万博に行ってきました！……………情報 2 年	鈴 木 好 夫	P27
『櫻守』……………研 究 生	田 中 祐 二	P28
有岡城惣構を歩く……………研 究 生	徳 永 悦 子	P29
「雨の日と月曜日は」……………研 究 生	徳 田 將 之	P30
マラソン旅行で全国各地を訪ねたい……………国際 3 年	長 久 武 司	P31・P32(左)
国際文化学科14期生 同期会開催 ……………研 究 生	三 木 静 子	P32(右)
よもやま話の会《ひと・こと・もの に出会う》……………研 究 生	河 田 かつ の ぶ	P33
第3回THE GAKU-YOU新入生歓迎ライブ……………研 究 生	徳 田 將 之	P34
思い遣る ワン・ワールド・フェスティバルにて……………研 究 生	井 上 聖 明	P35
《ぞっきちようから》……………研 究 生	金 森 扶 美 子	P36
〈私の練習作品〉水彩画 ……………研 究 生	山 根 邦 男	P37
〈クラブ・同好会活動報告〉 遊歩クラブ・テニスクラブ・軽音楽クラブ・朗読倶楽部		P38
ITを楽しむ会・ゴルフ同好会・カラオケクラブ・編集クラブ		～P41
<生涯学習センターからのお知らせ> ……………		P42
<編集後記、原稿募集案内> ……………		P43

シニア専修コースでご指導を頂く先生方から メッセージ

(敬称は省略、順序はあいうえお順。後期ご担当で本号に掲載
されていない先生は、次号に掲載させていただきます)

1 段目	名前	2 段目	写真	3 段目	役職名
4 段目	担当科目	5 段目	メッセージ		

文学歴史学科					
大村 拓生		桑原 一歌 (くわはら もとか)		妹尾 恵里 (せのお えり)	
					
関西大学等非常勤講師		本学非常勤講師		大阪公立大学客員研究員	
日本史学 (3)		日本文学 (2) 日本古典文学研究		日本文学 (1)	
こちらは今年度で3年目になります。地域の歴史の豊かさに触れていただければ幸いです。		古代後期文学の、『源氏物語』を専門にしています。学ぶ機会がある、人と集まることができる、という幸せを忘れずに日々をすごしたいものです。日本の古典文学をたどる道のりを一緒にします。		今年度からシニア専修コースの担当になりました。私の専門が中世文学・説話ですので、授業の内容は古典文学、特に中世文学です。中世文学の魅力をお伝えできたらと思います。よろしくお願いいたします。	
中村 直人		原 朋志		箕野 聡子 (みの としこ)	
					
関西大学非常勤講師		帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部 非常勤講師		神戸海星女子学院大学教授	
日本史学 (2) 戦国大名とその時代 近代日本のあゆみ		日本史学 (1) 日本伝来の文物とその歴史 日本古代の地域史と伝承		日本文学 (3)	
日本中世史 (寺院史) を専門としています。授業では、中世 (鎌倉時代から戦国時代) と近代 (幕末維新期から昭和戦前期) の歴史について扱います。時代の制約の中で、先人達はいかに生きてきたのか。私自身考えながら、皆さんに提示することができたら幸甚です。		日本古代史、主に飛鳥・奈良時代を専門としています。古代は一般的には今一つ人気のない時代ですが、興味深い事件や人物は数多く存在します。古代の面白さを伝えられるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。		近現代文学を担当します。本年度前半は、懐かしい日本の児童文学を中心に、その背景文化を探っていきます。物語の意外な側面がご紹介できればと願っています。	

国際文化学科		
玉城 毅	樽井 由紀	山口 悟
		
奈良県立大学教授	奈良女子大学非常勤講師	大阪学院大学教授
文化人類学入門（前期） アジア太平洋文化論（前期）	国際総合研究	国際地域文化 西洋史概論
世界と自己に対して心を開き、常に新鮮に向き合う、そのような学問を実践したいと考えています。	アメリカはあなたにとって身近な国でしょうか。遠い国でしょうか。アメリカは広大な土地を持ち、西海岸、東海岸、その間に位置する内陸部、一つの国でありながら、異なる歴史と文化をもっています。この授業ではアメリカであまり語られなかった、人種的・性的マイノリティ、非白人移民、ジェンダーにも視点をおいてアメリカの歴史と文化を紹介します。	歴史を楽しみましょう。
国際文化学科	情報学科	
山崎 浩平	小田桐 良一	垣東 弘一
		
龍谷大学・研究員	本学教授	本学教授
多文化共生論	プログラミング（前期） プログラミング応用（後期）	基礎情報（前期） Web応用（後期）
この列島に根ざす文化は一つではなく、また今日、濃淡の差はあれど、複数の文化が混ざり合いつつも、併存しています。本講義は受講生の皆さんと共に、他の文化を学びながら、他者との共生を模索していきます。	コンピュータでプログラムが動くことの理論の導入的な内容や、ブラウザ上で動作するビジュアルなプログラミングでの実習を担当します。プログラミング（後期）では、コンピュータに実行させた項目を考えながら取り組みます。	私たちを取り巻く情報社会と情報技術は日々変化しています。またインターネットを利用したサービスは生活に欠かせないものとなりました。情報の学ぶ範囲は広いですが、しっかりと情報を学んで人生を豊かにしていきましょう！

情報学科		
鴨谷 真知子	難波 宏司	山本 恒(ひさし)
		
本学非常勤講師	本学非常勤講師	本学名誉教授
インターネット活用	情報学科3年「課題研究」 情報学科研究生「プログラミング応用」(前期)	応用演習Ⅰ(前期) 応用演習Ⅱ(後期)
この授業では、クラウドサービスの基本を学び、インターネットを日常生活で便利に活用する方法を体験します。オンラインストレージやアプリの活用法を中心に、生活を豊かにする実践的なスキルを身につけましょう。	先日、定年後にJICAの海外協力隊でタイに行った人と会いました。70を超えてJICAも定年ですが、他の人と一緒に学んでやっていこうという姿勢から、現地から乞われ継続することになったと、またタイに戻りました。	学ぶことは人生を豊かにします。学びを自ら求めるものに高めることができればさらに楽しいものになります。一人でなく共に高まることができれば生きるエネルギーになります。シニア生活を大切な体験にしてください。
情報学科	共通選択	
米田 浩	板倉 直人	佐藤 信弥
		
本学非常勤講師	国際社会貢献センター・コーディネーター、 同志社大学商学部非常勤講師	本学非常勤講師
タブレット活用 基礎演習Ⅰ・Ⅱ 応用情報(前期・後期)	国際社会の諸問題Ⅰ・Ⅱ	漢字の歴史
小中学校のGIGAスクール構想も次のNEXT GIGAへと進んで行こうとしています。本学のシニアのみなさんもとて熱心にICT活用に取り組まれておられます。今年もその支援ができるよう、一緒に学びたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。	本年も海外経験豊富なABICの講師がトランプの米国はじめ世界の各地域の現状を詳しく且つ分かりやすく説明させていただきます。地域は中国・欧州・中東・米国・インド・インドネシア・南米・全般となっています。是非、世界を楽しんでください。	私の専門は中国古代史と古文字学です。古文字というのは殷周時代の甲骨文や青銅器の銘文など、古い時代の資料に使われている漢字のことです。今年度は私の専門のうち古文字や広く漢字について講義していきます。

共通選択		
谷川泰教	田和 正孝	村井 磨音
		
高野山大学名誉教授	関西学院大学名誉教授	本学非常勤講師
仏典を読む	東南アジア・西南太平洋の食と暮らしを探検する(前期)	近世文学入門Ⅰ 近世文学入門Ⅱ
気がつけば、後期高齢者 4 年目、私自身いよいよ老法、病法の身であることを日々痛感しておりますが、この一年頑張っ	東南アジア・西南太平洋地域における農産物や水産物の利用と人びとの多様な暮らしぶりに注目し、生産や集荷にひそむ人々のネットワーク、地域の変容過程などを探ってみます。どうぞよろしくお	この授業では、近松門左衛門と同じ江戸前期に上方にて活躍した井原西鶴の作品について取り扱います。大河ドラマは江戸中期から後期を舞台としていますが、

新緑のけやきアベニュー



2025.6.6 撮影



季節ごとに色を変えて私たちを迎えてくれる「けやきアベニュー」。この「けやきアベニュー」の生みの親が第 27 号でも紹介された、故一谷定之先生学長です。昭和 53 年当時、一谷定之先生学長は園田学園女子大学(当時)を、地域にも開かれた親しまれる学園にしたいと、やや殺風景だった敷地に樺の苗木を植えました。それらが大きく育ち、今や園田学園大学の顔ともいえる立派なアベニューとなりました。

写真はみずみずしい緑の樺に囲まれたアベニューと、入口に入って左にある一谷定之先生先生の俳句を刻んだ石碑です。

——「恋色の若芽もえ立つけやき道」——

(写真・文 編集クラブ)

先生からの寄稿文

歴史の素材・関心・契機はどこにでも

日本史学 (1) 他 原 朋志

私は、愛知県西部の知多半島にある、武豊町という小さな田舎町が故郷です。若い頃から歴史は好きでしたが、郷土史に対する関心は皆無に等しく、「歴史を学ぶなら京都・奈良のある関西だろう」という無知で安直な考えから、関西地域の大学しか受験しませんでした。その後、歴史を深く学ぶ過程で、少しは知識・視野・関心が幅広くなったと思います。

そんな折、ふとした契機から故郷の武豊町が「全国三大醸造郷」の一つに数えられていることを知りました。千葉県銚子・兵庫県の龍野と並ぶ、伝統的な味噌・たまり醤油の名産地だったのです。恥ずかしながら、この事実を詳しく知ったのは割と最近なのですが、点で認識していた歴史の知識が繋がり線となり、非常に得心したことを覚えています。

味噌は、古代中国で生産されていた、大豆などの穀物を発酵させた醬（ひしお）を起源とするという説が有力で、飛鳥時代には調味料として日本へ伝来し、独自の進化を遂げ平安時代に味噌が完成したと言われています。ちなみに、熟成途中の醬は未醬（みしょう）と呼ばれ、それが訛って「みしょう→みしょ→みそ」となったようです。

一方、私が専門とする日本古代では律令税制が敷かれ、各国から朝廷へ租・庸・調などの物品が貢納されます。このうち、調は各地の特産品で、国ごとに品目が異なります。私の故郷を含む尾張国の調には塩が規定されており、醬（醤油）・味噌は見えません。そうすると、武豊町ではいつ頃から味噌・たまり醤油の生産が盛んになったのでしょうか。

知多半島は元々醸造が盛んな地域で、江戸時

代以降は二百以上の酒蔵が存在しました。現代でもそれは継承されており、ポン酢で有名な醸造メーカーのミツカンが、武豊町の隣町である半田市に本社を構えており、周辺地域には江戸時代からの酒蔵も点在しています。

ところが、明治時代に入ると知多半島の酒造は急激に衰えます。経済的後ろ盾だった尾張藩の消滅、灘・伊丹との競合などが原因と考えられます。苦境に陥った酒蔵は、使用していた杉桶を転用して味噌の醸造を始めたのです。

長尾村（現武豊町）で製造された味噌は、大豆と塩のみを使用する豆味噌で、杉桶に三年熟成させるそうです。温暖な気候と良質の水、そして上述した古代以来の塩、さらに酒造で培われた醸造の知識と技術、全てが素材として揃っていたからこそ、武豊町の味噌は発展できたのではないのでしょうか。現在の武豊町には、伝統的製法を守り続ける味噌蔵がいくつか残っており、一部地域は景観にもその名残が見られます。味噌蔵のある古い景観では、家屋の壁が味噌の酵母で黒く染まっているのが特徴なのです。



武豊町 大足・里中地区に残る昔ながらの景観（撮影 原）

私は、故郷が全国に誇る興味深い歴史を、長らくほとんど知りませんでした。詳しく知る契機も、全く別の調べ物をしていた時の偶然でした。歴史に対する関心・契機は、どこから生じるか分かりません。そして、素材はどこにでも存在し、あらゆるものに歴史はあるはずです。皆さんの周辺にも、まだ見ぬ歴史が眠っていることでしょう。便利な時代となり調べる方法はたくさんありますから、いつどこで関心・契機を得られるか、でしょう。

本学における歴史の講義・講座が、皆さんの関心を引き起こす契機になれば幸いです。

先生からの寄稿文

多文化共生について

多文化共生論・アジアの風土と文化

山崎 浩平

今年、2025 年のこと。

後期もあと少しとなった園田での 4 限目が終わり、阪神電車に揺られて神戸まで足を伸ばした。茜色に染まる前の冬空の下、到着した駅からテクテクと 10 分ほど歩き、川沿いにある公園をブラブラしたり、その向かいにある公会堂に入って昼のみ開いている食堂をチラリとのぞいたりしていると、どっぴりと夜の帳が降りてきて、あたりは暗くなる。公園で元気に遊んでいる子どもたちがそろそろと帰路に就き始めたのを横目に、近くにある赤の看板が目立つ中華そば屋の暖簾を久しぶりにくぐり、カウンターのこれまた赤い席に腰を下ろす。中華そばを注文し、美味しく腹におさめた。さて帰るかと思店を出るも、夜なので、高架上に見える駅への入り口がわからない。そこで、前方より来た、小型犬と散歩中の高齢女性に道を尋ねた。親切にも教えてくれ、少し立ち話をすると、近くのアパート前の駐車場の片隅に小さな石碑があることを伝えてくれる。昔、あたりは大火に包まれ、幾つもの命が失われた。

この日は、1 月 17 日である。

多文化共生は、1995 年に神戸にて使われ始めた言葉である。災禍の被害が大きかった神戸には多数の外国人・外国出身者がいたことから、この人たちと共に復興を成し遂げる、との考えから広まった。生物学を出自とする共生 symbiosis との語は、それまで人と自然の関係に使われることがほとんどであった。野生動物と人との関係、また極端な話、映画ジュラシック・パーク／ワールドにある、現代に蘇った恐竜と人との共生・共存である。しかし、1995 年、人と人との関係や調和の意味も持つこととなる。日本文化や日本語とは異なる背景を持つ

人々への対応や社会参加を、復興の目標の一つとする必要があったからだ。ただ、あくまで外国籍・外国出身の人々が、日本という社会、主流である日本文化においてどう生きるか、大いなる災いのあと、どう共生するかが模索された。

今日、多文化共生との語は、いささか別の意味で、また、むしろ問題を悪化させる方便として使われる場合もあるが、少なくともあの当時は、善意や自発的な協力が生み出した理想的な社会状態、つまりは災害ユートピアからも派生した言葉でもある。自分も過去に一度、災害後の被災地を訪れ、復旧の手伝いに参加したことがある。そして、この経験が、のちに文化人類学を専攻するきっかけとなった、というわけではなく、さらにまた、のちに行うフィールドワークとのインド調査に強く影響を及ぼした、なんてこともサラサラない。人生は、そんな感動的でもなく、直線的に進まないのである。けれども、災害や大火などの経験は、語る者が、聞く者がいてこそ、認識され、受け継がれていく。他者の言葉に直に耳を傾けることが、文化人類学の、さらには文化理解の一つの方法である。文化人類学のフィールドワークは、「長い会話」に参加することとも言われ、一見無駄とも思われるよもやま話にも他者を理解するヒントが隠されているかもしれない。もっとも、昨今、言葉で解決できないことが多々ある、と忘れてはならないが。

とまれ、学部生はともかく、自分には、目下のところ、あの災いを経験した人もいるシニア講座にて、1995 年のことに関して語る言葉を持ち合わせてはいない。むしろ、こうした受講生の言葉に耳を傾ける方が、よほど多文化共生の面目躍如たる授業となるはずである。また大変パワフルで学習意欲の高いシニアの受講生にとって、あの時何があったか、実生活において次の世代に言葉を残すことも、体験した人、また年齢を重ねた人々の、大袈裟かもしれないが、義務と言える。そして、こうしたことが、おそらく多文化共生へとつながっていく可能性を秘めている。

先生からの寄稿文

情報を活用するって・・・

基礎演習・応用情報・タブレット活用

米田 浩

私は尼崎生まれの尼崎育ちで、就職も市内の小学校で勤務していました。初任の頃は、まだ身近にコンピュータなどは無く、先輩の勧めで初めて買ったのが写真のコンピュータです。性能面では、現在のスマートフォンにも到底及ばないものでした。ファイルの保存はカセットテープで行っていました。



初めて購入したコンピュータ

平成の初期の頃は、クラスの子どもの情報発信能力を育てるために、写真のように模造紙を貼り合わせた大きな掲示板に調べた情報や写真を貼り付けてプレゼンテーションをさせていました。模造紙以外では、OHP (overhead projector) と言われる投影機を使った方法もありました。

その後、小学校にもコンピュータ教室が整備



クラスの子どものプレゼンテーションの様子

され、10台程度のコンピュータが導入されたので、3～4人のグループで1台のコンピュータを使うのが主流でした。さらに何度かコンピュータ教室の更新が行われ、コンピュータ教室内では1人1台の利用環境が整備されてきました。

令和の時代に入ると、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミック (世界的大流行) の影響を受け、文部科学省の「GIGA スクール構想」の実現が前倒しとなり、全国的に全ての小・中学校 (特別支援学校 小・中学部含む) の児童・生徒に 1人1台の情報端末の配布等の環境整備が行われました。これは機器の環境変化はもちろんですが、子ども達の学びの変化においては画期的なことでした。

コロナ禍で情報端末を自宅に持ち帰ることで、自宅で課題を解決し、教室は友達との意見交流の場になります。(反転学習)

学習者用デジタル教科書や AI ドリルの普及に伴い、自分が設定した目標に向かって各自学びを進めることが可能になります。(自由進度学習)

そろそろ GIGA スクール構想も第2期「NEXT GIGA (GIGA 2)」を迎えようとしています。1人1台の情報端末の利活用が日常化され、子ども主体の学びや教室・学校外での学習、探究学習・STEAM 教育の推進など、令和の日本型学校教育の実現が迫っています。次期小学校学習指導要領においては、情報活用や情報技術の特性理解などを系統的に指導することを検討するという意見も出ています。

振り返ってみれば、平成初期と現在では情報機器等の発達や普及には目覚ましいものがありますが、それを流行の面と考えると、それらを生かすための「情報を得る、整理・比較する、それを分かりやすく発信・伝達したり保存・共有したりする」と言った不易の面での情報活用能力の育成は変わらず重要です。私も含めてシニア世代のみなさまには、AI などの新しい情報技術に臆することなく、今まで培った情報活用能力を生かすべく、気長に緩く対応していきましょう。

ご入学おめでとうございます

令和7年度 シニア専修コース 入学式

本年度のシニア専修コース入学式が4月10日、3号館のAVホールで行われました。新入生は、文学歴史学科9名、国際文化学科15名、情報学科22名で、合わせて46名の入学式となりました。



入学式の光景



大江学長の式辞



能島センター長の挨拶



入学許可証を受け取る新入生

ご卒業おめでとうございます

令和6年度 シニア専修コース 卒業式

3月3日(月)の午前10時から、令和6年度シニア専修コースの卒業式がAVホール(3号館・2階)で執り行われ、大江学長から卒業証書が卒業生一人一人に授与されました。卒業生は、文学歴史学科10名、国際文化学科10名、情報学科3名の計23名でした。



令和6年度卒業生集合写真



式辞を述べられる大江学長



稲垣部長の挨拶



卒業証書の授与

シニア専修コースによろこ

令和7年(2025年)度 新入生誌上座談会

これから3年間 ともに楽しく 学びましょう！

《参加者》 杉村 勝美 (文歴) 辻 英子 (文歴) 小林 孝志 (国際)
酒井 洋典 (国際) 久保田 成美 (情報) 山本 邦明 (情報)

「けやき便り」編集クラブでは、新入生の6名(各学科2名ずつ)の皆さんに、入学に向けての動機、感想などを、アンケート形式で質問し、いただいた回答を集約して「誌上座談会」としてまとめました。

■園田シニア専修コースに入学された 動機を教えてください

杉村 公開講座を2年間受講していましたので学園の雰囲気に親しみもあり、梅田からの距離(阪急電車)の良さが決め手となりました。選択科目が多く、歴史を体系的に学びたいと思いましたのが大きな動機です。

辻 姉が研究生でいます。話を聞いて入学したいと思いました。

小林 今春まで神戸市シルバーカレッジの国際交流コースに通っていました。

まだやり残した事がありますので。本コースを選びました。

酒井 会社を65歳で退職してから、神戸市シルバーカレッジに2期6年通いました。ここは、園田のように研究生制度などが無く、6年以上は通学できないので、阪神シニアカレッジの国際理解学科に願書を出しましたが、結果として、妻が研究生として在籍している園田を選んだという訳です。

久保田 今年の3月に退職をしたのですが、昨年の初めから退職後はどうしようかと思案していました。ちょうど園田のシニア専修コースに情報学科があり、世の中の情報化に少しでもついていけるように、もう一度初めから学び直したいと思いました。

山本 年を重ねると出不精になり、外出するに

も何か刺激がないと出にくくなります。同じ刺激ならば、興味のある事のほうが良いと思い入学しました。

■やりたいこと、挑戦されたいこと

久保田 情報で学ぼうと覚悟したので、やっぱり「プログラミング」でしょうか。でもなにより、パソコンやスマホ、タブレットを使いこなす術を身につけることです。

山本 同じ学科、他学科そして先輩の人たちとアフターファイブも含めて交流が深められたらと思います。

酒井 入会したクラブのメンバーやクラスメートの方々と懇親会を通して、積極的に交流を深めることができたらと思っています。

小林 これから考えます。

杉村 日本の文学(必須)について得意ではなかったのですが、講座を通してより親しみたいと思っています。選択科目について次学年以降、選択肢を広げて様々なテーマについて学びたいです。

辻 今まで知らなかったことを学習していきたいです。

■授業についての感想、クラブ・同好会活動への 興味や希望など、学園生活を始めての印象に についてお聞かせください

小林 授業については、特にありません。クラブは「遊歩クラブ」に入ったのでこれから楽しみたいのです。

酒井 先ず授業ですが、神戸市シルバーカレッジのような高齢者大学では、毎回講師とテーマが変わるものですが、園田では前期/後期を通して講師が同じで、授業内容も一貫したテーマで行われているのが新鮮でした。まるで、50年以上前にタイムスリップして、大学の教養課程の講義を受けているような感覚を思い出しました。次に、クラブ活動ですが、家内の薦めで、カラオケクラブと編集クラブに入会し、クラブ活動の後の二次会で多くの人と懇親を深めています。楽しいです。

山本 授業が始まってまだ1ヶ月程度ですが、内容のレベルが高く、1年間頑張れるのか不安な気持ちで一杯です。

杉村 必須科目の授業は少人数で快適です。「けやきゴルフ同好会」と「遊歩クラブ」に入会いたしました。行事にたくさん参加し、新しい仲間の方々とお会いできるのが楽しみです。

辻 集中して聞いています。1時間30分、あっという間の時間で楽しいです。

久保田 今はまだ知っていることが多いので、余裕があり、授業を楽しんでいます。

■先輩たちや学校(生涯学習センター)などへの要望について

山本 まだまだ要望など無理。自分の事だけで精一杯の状態です。

辻 熱心にクラブ紹介されている方が多くみられて、楽しく過ごしておられるようで素晴らしいと思います。

杉村 歴史に興味があり学科を選択したのですが、2年生・3年生や研究生の方々との交流の機会がありますか？

期間は年間でも半期でも短期を問わず、座学プラス現地への探訪を織り込んだ講座の開設について検討をお願いします

酒井 クラス代表がいないので、クラスとして

の纏まりがいまいちです。国際文化1年では自主的にお世話をしてくれる方が現れ、少し纏まりが出て来ていますが、他のクラスについては纏まりが無くバラバラと聞いています。以前はクラス代表を抽選で決めていたと伺いました。私個人としては、復活して欲しいと思います。

■その他感想、意見などございましたら

辻 3年間、学生として楽しく授業を受けたいです。

酒井 園田は高齢者大学と違って、若い学生(特に女子学生)が多く、新鮮な印象を受けました。キャンパスも大学然としていて、趣があります。

杉村 古代から日本の政治・経済・文化などへ大きな影響を与えた、中国や朝鮮との交流などについて東洋史の講座の開設を希望します

久保田 図書館が自由に使えて嬉しいです。まだまだ楽しめることがあると思うので、3年間が楽しみです。

山本 授業は、先生の講義で教科書の内容を把握して理解し、パソコン画面を操作して確認するなどの動作が一体となっており、アシスタントの方に助けていただいて、なんとか食らいついている状況。いつまでモツかなあ〜。

編集クラブから

入学早々、新入生の方々にご無理をお願いして、誌上座談会に参加していただきました。

各学科2名の方々への編集クラブからの急なお願いに、快く回答を引き受けていただきましたことを感謝申し上げます。

座談会からは、新しい学びの世界へ飛び込んだ皆さまの、新鮮で前向きな意気込みが伝わってまいります。ありがとうございました。

(まとめ:「けやき便り」編集クラブ)

卒業生からのメッセージ

園田学園入学と思い出

情報学科 北川 澄夫

園田学園を 2025 年 3 月で卒業です。大変お世話になりました。

入学のきっかけは阪神シニアカレッジ園芸学科を卒業することになり次は何を学ぼうかと考えたのがスタートです。

もうすぐ後期高齢者!!考えた結果 2 つの視点

- ① サラリーマン時代に自己流でなんとなくできようになった日常使う Office の使い方がどの程度わかってるかはっきりしない。再度習ってみよう!
- ② インターネットがないと生活できない環境になってきているが今後はうまく使えないと生活できないのでは?

その上で重要なのは今後の情報関連の動きを知る事とセキュリティーの問題と対応方法を知る事では?

と思い、学願書を出し 2020 年度の入学となった。ところが 2019 年末頃からコロナ流行が問題となり 2020 年度の 1 月頃からパンデミック宣言となり 4 月からの授業は延期、結果的にはこの年はシニア専修コースは閉鎖になり再開時期は翌年の予定となる。翌年 2021 年も 5 月にやっと再開。そんなことで入学者は激減し 20 名強の入学予定者が実際は 7 名だった。授業が始まっても受講者同士の交流は控える事が原則。もう一つの楽しみの学園生活の交流による広がりほとんどなく結果的には 3 年間で最終 2 名となった (前年休学者を入れると 3 名)。

ただコロナの授業停止期間中 2020 年の入学予定生に対し ZOOM による特別講義が企画され熱心に実施された山本教授の講義で研究生含め新たな出会いができた。

コロナがなければ経験しないと思われる ZOOM メンバーとのめぐり逢いが今でも続いている。情報学科横断的なめぐり逢い。コロナ

での開校延期がなければありえなかった。「人生塞翁が馬」結果的には良しとすべきかな?

入学して情報 1・2 年生の学習はオフィス学習、HP の作成等、また写真編集等... これら講義はもう少し早く知っておけば効率的に仕事を進められたと反省しつつ興味深いものであった。3 年生ではスクラッチ学習等参考になる事が結構あった。3 年後半は研究課題で Google サイトによるホームページの作成に取り組んだ。これも一つの成果かな。

趣味で写真をしているが 2024 年 6 月間テーマ写真 (テーマ: 梅雨を思わせる写真) に投稿したら入選した。これも一つの思い出となった。最後にすべての授業が予想通りではなかったが、Office のおさらいまたプログラミングの学習等大変お世話になり良き思い出となった。

現在専修コースで学んでいる皆様、良い思い出を作ってください。 さようなら。



▲ 入選作品です

この度は、情報教育センター主催の「フォトコンテスト」へご応募いただきまして誠にありがとうございました。厳正な審査の結果、最優秀賞は北川澄夫さんの「梅雨を思わせる紫陽花」が選出されました。

2024 年 7 月

卒業生からのメッセージ

たくさんの出会いが ありました

国際文化学科 松本 康栄

園田専修コースに入学して、早や3年経ち国際文化学科を卒業しました。

私の一番の思い出は、2年6カ月間の松山先生の「日本の風土と文化」の授業です。

授業内容もさることながら、美しい文字で難しい漢字をすらすらと板書され、描かれる地図も驚くほど正確で、毎回先生の授業が楽しみでした。

教壇に立ち続けられた先生の姿は、今でも目に焼き付いています。

そして、フィールドワークでは、松山先生の授業内容（アイヌ史、明治初期のアイヌの生活など）に沿って、松阪市の松浦武四郎記念館、福崎町の柳田國男松岡家記念館に学校のバスで訪問しました。

クラブ・サークル活動では、カラオケクラブ、よもやま話の会、そして編集クラブにも入部しました。

よもやま話の会では、神戸市の宗教施設巡りで異文化に触れ、シク教寺院で宗教音楽を聴き、インド料理をいただきました。

更に、「国際総合研究」担当の樽井先生の企画で祇園祭を観に京都へ出かけるなどの体験を通して、クラス、学年、学科を超え、たくさんの方と出会えました。

お世話になった方に、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。とても楽しい経験でした。

また「松山先生を送る会」では、センターの方々にもメッセージカードの作成などに、ご協力いただき感謝しています。

友人に誘われて入学したことを、心から良かったと思っています。

ただ残念なことに、私を園田に連れてきてくれたその友人は、家庭の事情で退学されました。人にはそれぞれ背負うものがあり、避けて通れない道があるのだと感じます。

元気で通学できることに感謝しながら、今春より研究生として、これからも有意義な学生生活を送りたいと思います。



「北海道」の名付け親といわれる、松浦武四郎の
記念館フィールドワーク 2023. 7. 28



柳田國男・河童「ガジロウ」で町おこしする
福崎町バスツアー 2023. 12. 13



「神戸にある宗教施設巡り」のスタート地点
神戸文学館前で 2024. 10. 20

卒業生からのメッセージ

Z世代の老人たち

文学歴史学科卒業生 長光 元久

最近の若者たちはZ世代と言われています。アメリカでは9.11以降校内で頻発する銃の乱射事件やジェンダー問題など厳しい社会環境のなか育ってきた世代です。竹田ダニエルさんはその著書で「社会に対して目を向け、常に自分と向き合い、誰もがより良い社会を目指すべきだ」という“価値観”で形成されると語っています。デジタルネイティブで政治にも関心が高い。

一方日本のZ世代は受動的で他力本願、政治には無関心、アメリカとは真逆の印象です。私にはアメリカは取組型世代で日本は参加型という印象です。私たち老人のなかにもこの参加型の老人が増えてきたように思います。

さて園田で学んでおられる皆様はいかがでしょう。私は今別のシルバーカレッジの2年生です。そう昨年はWスクールでした。

学生同士でよく話題になったのはどの先生がおもしろい？ 授業のテーマから期待していたが内容が違う。教科によっては授業内容が実生活に役に立たない、などなど。

さらにクラスの委員なり、学校行事の委員を選ぶのは「じゃいけん」か「あみだくじ」この二択です。かくして委員は逃げきりに失敗し、仕方なく委員会に参加させられた不幸な方々の集団となっています。

コロナ以降どこも新生が減少し学校行事の担い手が少なくなったことに加え、行事に自発的に取り組む人が少なくなり、行事の存続が危ぶまれているのが現実です。サークル活動も創部当時は取組型の学生が主導して運営されていたと思います。ところが今では取組型の学生が減り参加型が多数の現状で、サークルの運営は取組型の学生が再入学を繰り返して運営を担うということが多いように思います。ある意味、取組みたい人と、参加はしたいが取組みたくな

い人のWin-Winの関係になっているのかもしれませんが。しかしやっぱりいびつで問題もあるように思います。よく見ると老人たちにも違いがあるようです。ベビーブームの老人たちは数が多いゆえに、ある意味激しい競争社会でした。しかし高度成長期で学校を卒業し勝ち抜けば自己実現は比較的容易だった取組型世代です。この世代が後期高齢者となり今までのシニア教育のメインターゲットから去り始め、コロナの3年間を経て新しい世代となりました。高度成長期の恩恵もあまり受けず、「オーもうれつ」から「のんびり行こうぜ俺たちは」と明らかに参加型に変化したと思います。ある学校の調査でここ5年間で入学するシニアの平均年齢が65歳前後から71歳へ高齢化したということです。健康年齢が75歳前後と考えると、受講可能な期間もかつての10年ほどから最近では5年ほどへ減少していると思われます。この意識の変化と受講可能期間の短縮がシニア教育の現場に立ちふさがるのも新しい課題だと思っています。

私たちも何を学ぶかをもう少し考えてみるのが大切だと思います。先ほどの授業が面白くないのは先生のせい。授業の内容が自分の期待と違うのもあなたのせい。何かを決めるのはご自分の意思でなくくじ。もちろん私も同様に思うところは多々あります。ただ半分は自分の問題という自覚はあります。Z世代は配属ガチャ問題や、会社がキャリアをアップさせてくれないからという理由で退職します。「好きを仕事にする」みんなそう言います。でもそのための努力をする人はあまりいない。私が親なら仕事が面白くなくても仕事の中にやりがいを見つけなさいとか、キャリアをアップさせるのは自己啓発だよとかアドバイスします。昭和人ですね。

今学校の担い手たちである皆様たちはいかがでしょう。学校が何をしてくれるかではなく自分が何をするかを自問するべきではありませんか。皆様がZ世代の老人であればおのずから学級は崩壊し、その時きつと言いますよね、誰も教えてくれなかったから。

この人にインタビュー

新たな出会いから新たなチャレンジへ

文学歴史学科3年生の油川雅英さん

油川さんプロフィール

65歳 独身、尼崎生まれ、
尼崎育ち、現在も尼崎在住

(聞き手)「けやき便り」編集クラブ



軽音楽クラブで「カ
ホン」を演奏する油
川さん

◆園田学園シニア専修コース入学の動機は？

3年前に右手を骨折して、図書館に行くことを日課として過ごしました。その際に自分が日本史好きで歴史小説が好きだということを再認識しました。

そのようななか園田学園シニア専修コースを見つけ、自宅から自転車通学できるという便宜性も含め、入学させていただくことにしました。

◆園田での経験で印象に残る事は？

最初、入学したときは、講義を聞いて帰るだけかと思っていましたが、いろいろな活動をクラスの仲間とすることができました。なかでも2023年11月の奈良・山の辺の道ツアー、2024年6月の京都宇治・伏見ツアーはクラス委員作成の旅の手引きもすばらしく感動ものでした。

クラスや軽音楽クラブの仲間とお話をするなかで、刺激を受けることも多く、そのことが今、自分が、いろいろなことにチャレンジしてみようと思う気持ちに繋がっていると思います。

◆音楽との出会い、軽音での活動について

軽音楽クラブとは入学した時の歓迎ライブで、一緒に歌いましょうのコーナーで、たまたま、歌わせていただいたのが、最初の接点でした。その後、練習を見学させていただくようになりまた軽音のボランティア活動としての訪問演奏に共感するところがあり、その活動をサポートさせていただくようになりました。そうした中で、メンバーの方からカホンって楽器があるから、チャレンジしてみてはというアドバイスを受け、練習を始めました。カホンの演奏を少しずつできるようになり、演奏活動にも参加させていただき、そして今年度、新メンバーを新たに募集するというので、それにあわせて、私も、5月から、正式メンバーとして加え

ていただくことになりました。

◆趣味でやっておられるダンスはいかがですか

以前、スポーツクラブのスタジオレッスンが面白そうだなと思い、ダンスを始めました。今は週に1回、サークル活動としてダンスを続けています。

シニアのダンスも、社交ダンスよりも簡単にできるヒップホップ系のダンスをされる方が増えてきているように思います。

◆サマセミの活動について教えてください

昨年サマセミが園田学園で開催されるということで、何かお手伝いできないかとボランティアスタッフに応募し、軽音楽のサークルともボランティア活動の紹介も含め、音楽の授業のセンセイという形で参加させていただきました。

実行委員会のメンバーに入れていただきましたが、メンバーは小学生からシニア世代まで、様々な人たちが参加して自由に意見が言えるので、勉強になることがたくさんあります。

◆今後、学びを広げたい分野について

今年度は日本史学(3)で尼崎の歴史を学びます。生まれ育った尼崎のことを、もっと知りたいと思っています。

歴史・文化、またサマセミをはじめとした、様々な活動を通じて、尼崎についての知識を広げることですね。

◆最近、感じている事について

第二のキャンパスライフの中で、たくさんの学び直しや、新たな出会いを通して、自分自身の視野が広がり、新たなチャレンジができています。

これからも、園田学園シニア専修コースで、たくさんの刺激を受けながら、充実したシニアライフを過ごすことができたらと思っています。



京都『哲学の道』の

整備をめぐる意見対立

国際文化学科 3 年 飯田 光治

「人は人 吾はわれ也 とにかくに 吾行く道を
吾は行くなり 寸心」

これは大正から昭和の初期にかけて足跡を残した、日本を代表する哲学者の西田幾多郎が人生の指針を示した碩学（せきがく）の教えとして詠んだ歌であり、京都市左京区の法然院（浄土宗）の近くに建つ石碑に刻まれている。この石碑は西田幾多郎晩年の昭和 14 年の自筆によるもので、寸心は西田幾多郎の居士号という。



法然院に近い南禅寺（臨済宗南禅寺派）から銀閣寺（臨済宗相国寺派）まで続く水路沿いの約 1.5km の散歩道は西田幾多郎がもの思いにふけりながら歩いていたことから哲学の道と名付けられ、日本の道 100 選に選ばれている。春にはソメイヨシノが咲き誇り、夏は新緑が美しく、秋には艶やかな紅葉、冬は静寂の趣があり、いつ訪れても独特な情緒がただよい、京都でも人気のスポットの一つになっている。

今年の 3 月から新聞、テレビ、ネットニュースなどで、哲学の道のアスファルト舗装化をめぐる賛成派の住民と反対派の意見が対立しているとの報道が相次いだ。



MBS NEWS より

哲学の道へは久しく訪れておらず、舗装化論争の報道に接した 3 日後の 3 月 23 日（日）に浄土真宗西本願寺で営まれた春季彼岸会のお参りをすませた後に、ウォーキングを兼ねて哲学の道まで歩いた。桜の開花まで約 1 週間程度で人影は少なく、敷石がキレイに並べられた散歩道と水路の間には柵がなく、風情のある美しい風景となっている。この敷石は歩行者が歩きやすいようにと、1987 年（昭和 53 年）に廃止された京都市電の軌道敷石を転用したという。

石を敷き詰めたこの風情のある道をアスファルトで舗装することなど絶対にあり得ないと思い早晩舗装化反対派が優勢で決着するものと予測して銀閣寺を観光した後帰途に着いた。



数日後、哲学の道のことが気になり詳しく調べ直してみると、水路沿いの散歩道と一段低い歩道を総称して哲学の道として京都市が管理していることを把握し、舗装化論争とは歩道部分についての意見対立を指していることがわかり、MBS NEWS に掲載された散歩道の写真を観て早合点していたことに気がついた。

京都市が哲学の道（歩道部分）の全面舗装化を計画し、銀閣寺に近い北側の約 4 割について 1985 年頃と 1996 年頃の 2 回に分けて舗装工事

が行われたが、地域市民から強い反対があり、残りの約6割が未舗装区間となり砂利道として残った。舗装区間についても経年劣化で砂利道になっている部分もあり、舗装化を求める住民からは「雨が降った後には水たまりができたり、風で土ぼこりが舞ったりするほか、路上の石が邪魔になる」などの声があり、舗装化賛成派の意見は主に安全上の理由によるものだった。舗装化反対派の中心的存在の哲学の道の清掃を行っている団体などは「舗装は哲学の道に合わない。現在の砂利道でもない昔の土の道に戻して」との意見もあり、簡単には解決しそうにない根の深い問題であることがわかった。

4月12日(土)、天気は快晴で桜はまだ楽しめるとの桜情報により再度哲学の道へ向かった。高瀬川沿いを歩いていると多くの人が川をのぞいていた。上流から流れ着いた桜の花びらで川の流れがさえぎられ、京都市の職員が取り除いている珍しい場面に遭遇した。歳を重ねるとこういうシーンにも風情を感じるようになった。



哲学の道ではレンタサイクルで走っている欧米人や、桜の枝を引っ張って写真を撮っているアジア人を多く目にした。文化の違いと言えばそれまでだが、これはこれで問題だ。



砂利道を車いすやベビーカーやお年寄りの手押し車で通るのは難しいように感じた。実際に歩いてみると確かに歩きにくく、景観より安全性を重視するのは当然のように感じた。



古都の風情を楽しみたい人は敷石が並べられた散歩道をゆっくり歩き、移動のために利用する人は整備された歩道を歩くのが適切な哲学の道の使い方と思われた。銀閣寺から今出川通へ向かう歩道は、ブロック舗装のようで歩きやすかったが、哲学の道には相応しくないと感じた。



公園や歴史的景観地区で導入している自然石と樹脂を混合した透水性自然石樹脂舗装という景観的に優れ雨水が浸透して歩きやすい舗装もあるので、京都市は「アスファルト舗装」でもなく「昔の土の道に戻す」でもない「第三の道」の解決策を見出して、哲学の道がこれからも地域住民や国内外の観光客から愛され親しまれるよう、京都ファンとして切望する次第である。

漢詩を学ぶ (その四) 『原爆行』

研究生 松原 光治

はじめに

今年は広島・長崎被爆 80 年にあたる。昨年は日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受けた。しかし、核廃絶に向けた動きは遅々として進まない。それどころかウクライナや中東など核を使った威嚇さえ行われている。二度と再び核兵器が使われることがあってはならない。これは被爆体験国日本の国民すべてが共有している悲願と言ってもいいのではないか。漢詩には古くから戦争の悲惨さを詠う伝統があった。この伝統は現代日本にも受け継がれ、『原爆行（げんばくのうた）』という原爆の悲惨さを詠った漢詩があることを知った。被爆 80 年にあたる今年の最初の『漢詩を学ぶ（その四）』として、この詩を学ぶことにしたい。

『原爆行（げんばくのうた）』

『原爆行』は、戦前、戦後の漢詩壇で活躍し、「日本の最後の漢詩人」といわれる土屋竹雨（戦後、大東文化大学の学長などを歴任）の作である。土屋は、杜甫の有名な出征兵士を送る詩『兵車行』などの伝統的な漢詩の作法を踏まえて、この詩を創った¹⁾。この詩は、永く広島市の原爆資料館の入り口正面に掲げられ、多くの来館者に感銘を与えたそうである²⁾。また英語にも訳され、広く海外の人たちにも原爆の悲惨さを伝えたという。二十句とやや長い詩なので四句ずつに分けて読んでいく。

かいこういっせん そうびん くだ
怪光一線 蒼旻より下り
こつぜん ち ふる てんじつくら
忽然として 地震い 天日昏し
いちせつな かん りようこくへん
一刹那の間 陵谷変じ
じょうしだいしや かいじん き
城市台樹 灰燼に帰す

怪しい光がひとすじ、青空から降ってきたか
と思うと、たちまち大地は揺らぎ、あたりは暗

くなった。一瞬にして丘と谷はその姿を変え、
街並みも、高い建物も、緑の木々も、焼き尽く
され、破壊し尽くされ、すべて瓦礫の山となっ
てしまった。

こ ひ ししやさんじゅうまん
此の日 死者三十万
せいじや きず こうむ かな うめ
生者は創を被り 悲しみ且つ呻く
し せいぼうぼう して し べ
死生茫茫として 識る可からず
つま そ おつと もと こ おや もと
妻は其の夫を求め 児は親を覓む

この日の死者、三十万。生き残った者もひど
い傷を受け、悲しげにうめき声をあげている。
生死の境はぼうぼうとしてあてどなく、死者か
生者か見分けもつかぬありさまである。そんな
中、妻は夫を探し、子は親を求めている。

あびきょうかん てんち とよも
阿鼻叫喚 天地に動し
はくとう ちなが しかばね おうちん
陌頭 血流れて 屍 横陳す
じゅんなん いのち おと せんし あら
殉難して 命を殞すは 戦士に非ず
がい こうむ すべ こ こ たみ
害を被るは 総て是れ無辜の民

断末魔のすさまじいうめき声が、天地の間に
ひびきわたり、街頭そこら中に血が流れ、死体
がごろごろと転がっている。この災難で命を落
としたものは、戦闘員ではなく、被害にあった
ものはすべて何の罪のものもない市民たちなのだ。

こうりょう さん か いま か あ
広陵の惨禍 未だ曾って有らざるに
こぐん さら おそ きよう しん
胡軍 更に襲う崎陽の津
に と こうりょう けいけん つ
二都荒涼として 鶏犬尽き
かいしやう つい が ひと み
壊牆 墜瓦 人を見ず

広島は惨禍は、いまだかつて人類が経験した
ことのないような有様なのに、アメリカ軍はさ
らに長崎にも襲い掛かった。広島、長崎の二つ
の都市は荒れ果てて、のどかな風景の象徴であ
る鶏や犬もいなくなり、壊れた壁、崩れ落ちた
瓦礫の山の間に、人の姿も見えない。

かく ごと ざんぎやく てん いか ところ
是の如き残虐は 天の怒る所
きょうぼう さら す ろう こ しん
驕暴 更に過ぐ 狼虎の秦
きみ き しゅうしゅう き こく
君聞かずや 嗽 嗽たる鬼哭
よる あかつき たつ
夜より旦に達するを
ざんかく あめくら せいりん と
残郭 雨暗くして 青燐飛ぶ

尼崎市内の歴史ある

建築物をたずねて

研究生 高山 純子

尼崎市には、歴史のある建築物がいくつも存在します。見学する機会がありましたので紹介したいと思います。

1. 旧尼崎紡績本社事務所(前ユニチカ記念館)

尼崎紡績は明治22(1889)年の設立で、同社の成功が工業都市尼崎の発展のきっかけとなった。この建物は明治33(1900)年本社工場内に同事務所として建設され、尼崎市に現存する最古の洋式建築で、兵庫県や経済産業省からも歴史的建造物として認定されている。

尼崎紡績は大日本紡績、ニチボー、ユニチカと社名を改称してきた。大正時代には阪神電車大物駅東側一体が大日本紡績尼崎工場になっていて、敷地総面積は約20万㎡あったそうだ。

この建物は昭和34(1959)年、尼崎紡績以来の歴史的資料を収蔵・展示する記念館として整備され、令和元(2019)年まで一般公開していたが、その後通常非公開となった。また、安全上の理由から令和3(2021)年に敷地周辺の煉瓦塀は一部を残してフェンスに変更された。令和5(2023)年に尼崎市が所有することになり、保存と活用を進めている。

現在、内部は少人数での見学を行うのみであるが、「市報あまがさ2025年4月号」には本年(2025)年4月より同事務所の敷地を一般開放することになったと報じられている。

この建物は煉瓦作りで基礎には固い黒煉瓦が使われ、煉瓦の積み方は「イギリス積み」である。「イギリス積み」とは煉瓦の長い面だけの段、短い面だけの段を交互に積み上げる方式で、ちなみに煉瓦の長い面と短い面を交互に並べてい

く方式は「フランス積み」というそうだ。

「イギリス積み」に関連してこの建物の設計はイギリス人でイギリス製の煉瓦が使われているのではないかなどという説もあったらしい。しかし実際のところは、この



イギリス積み

建物より少し前に建設された本社工場と同様に茂庄五郎設計、銭高組施工の可能性があり、煉瓦はその刻印によって岸和田や堺など泉州地方で製造されたものであることが判明している。

内部については、竣工当初の姿を残しているのはごく一部で記念館への改修時に大幅に変えられている。現在も残されている展示品の中には、歴代のマスコットガールのポスターや1964年の東京オリンピックで活躍したニチボー貝塚の女子バレーボールチームの資料などもあって懐かしく、当時のことが思い出された。

尼崎紡績以来の歴史的資料は尼崎市歴史博物館にて整理中であるため展示されていなかった。

これまで見学会開催時以外は、フェンス越しにしか見られなかったこの建物が敷地の一般開放により間近で見ることができるようになった。敷地内にはベンチなども設置されるそうで歴史的建造物であることを意識しながら見学したい。



フェンス越しに見る

2. 村野藤吾(1891~1984)設計の建築物

村野藤吾：日本を代表する建築家

大阪の渡辺節建築事務所を経て昭4(1929)年独立。昭和の名建築を多く手掛けた。

A) 旧大庄村役場

(現尼崎市立大庄南生涯学習プラザ)

地上3階、地下1階建・塔屋付で、外壁は「塩焼タイル」。平成15(2003)年国登録文化財に登録。

旧大庄村役場は村野藤吾が独立後、初めて設計を手掛けた庁舎建築で、随所に村野の建築思想が反映されているという。



南東側から

村野は昭和5(1930)年に出かけた建築の見学旅行で最も感銘を受けたストックホルム市庁舎のコンセプトを大庄村役場で実践したと推測されるそうだ。ストックホルム市庁舎といえばノーベル賞の晩餐会が開催される場所として有名である。



北西側から

外観上の特徴は見る方向によって建物の形状が全く異なって見えることやレリーフなどの装飾が各所に散りばめられていることだ。塔屋の天井には星や雲を模った装飾があり、塔屋の東西の側面にはオリーブの木の透かし彫りが施されている。



オリーブ

見学会では屋上から塔屋まで上がり、これらの装飾を目の前で見ることができた。

また裏面(北西側)から見ると建設当時あった水路の流れに合わせて1階の外壁が円弧を描き、その上に箱型の2・3階が積み重なっている。そして玄関周りの外壁にもオリーブを背景にした鳩やグリフィン(鷲とライオンを組み合わせた想像上の怪物)のレリーフが飾られている。

内部は旧貴賓室や階段などが当初の姿を留め、旧貴賓室の暖房器具のパネルには、ぶどうの装飾が施されている。この旧貴賓室は現在もプラザの学習室として使われているそうだ。



グリフィン

オリーブや鳩、ぶどうなどの装飾は旧約聖書の『ノアの方舟』の物語に由来している。この建

物は昭和9(1934)年の室戸台風の災害復旧・復興後に建設されていて、村野は「水害からの復興の象徴」と考えていたらしい。

また、村野は「階段の魔術師」との異名をとり、水が描いた曲線を見て曲線階段のイメージをつかんだといわれ、この建物でも階段の曲が

り方が階によって微妙に異なっている。

地下室には当時食堂やボイラーがあり、冬季には全館を暖房するようになっていたようだ。そして明り取りのためだろうか、地下室の天井に当たる部分の地上にガラスがはめ込まれているのが興味深かった。



屋上から見た塔屋と天井の雲と星の装飾の一部

昭和12(1937)年に竣工した大庄村役場は当初から注目され、翌年発行の写真雑誌や建築雑誌の特集記事で紹介されたという。

その後、昭和17(1942)年に尼崎市と合併し、昭和44(1969)年からは尼崎市立大庄公民館となり、耐震補強・整備工事を経て現在も尼崎市立大庄南生涯学習プラザとして使用されている。

B) 尼崎市庁舎

昭和37(1962)年竣工。日本建築業協会賞(現在のBCS賞)受賞。当初は高棟層、低棟層、議会棟の3棟構成で、昭和50年代に議会棟増築と第二庁舎が竣工。じっくり眺めてみると各棟の外観は一般的なビルとは全く違う複雑なデザインであることがわかる。



村野が設計した市庁舎は尼崎市・宝塚市・横浜市の3市で、現存するのは尼崎市と宝塚市だけである。老朽化による建替え案も出ているようだが、尼崎市の貴重な財産として長く使用して保存してほしいものだ。

※参考文献：尼崎市歴史博物館主催見学会資料・

「市報あまがさき」2023年5月号・2025年4月号

ベトナム紀行

国際文化学科 3 年 奥野 嘉彦

ベトナムは日本とほぼ同じ面積、人口を擁し、安土桃山時代にはホイアンの港町を中心に日本との交流も盛んでした。実際には当時の日本人が建設した日本橋、中国の影響を受けた旧市街地が大切にされ、今でも綺麗な形で残っています。江戸時代に入ってから徳川幕府の鎖国政策もあり、日越の関係も長く途絶えてしまいました。1990 年以降は外国資本の受け入れにより、経済が高度成長を続けています。

最初にベトナムに降り立ったのがハノイで大正解でした。関空よりも少し小さな空港でしたが、人、人で溢れかえっていました。空港の直近には客待ちのタクシーが多く停まっていた。私が乗るバスは大型なので直近まで入って来られず、遠く離れたバスの待機所まで重いスーツケースを手で押しながら、10 分位歩くこととなりました。現地の観光ガイドさんは年齢 50 歳位の方で日本のこともよく知っておられました。日本には一度も来たことがないとのことですが観光ガイドの仕事を通じて、観光客の方から教えを請うてスキルアップしたそうです。

ベトナム語で「こんにちは」は Xin chao ㄣ (シンチャオ) と語尾のイントネーションが下がります。Xin chao ㄱ (シンチャオ) の語尾のイントネーションが上がると、「私はフォーが食べたい」の意味になると教えて頂きました。



した。その他にはベトナム語で「ありがとう」は Cam on (カム オン) と語尾が下がります。乾杯は Mot hai ba do (モーハイバーヨー)。

これらの日常の挨拶もガイドさんから教わり、現地のあらゆるシチュエーションで多用し、とても重宝しました。ガイドさんに感謝です。

道中の移動手段は主にバスでした。大きな町を離れて農村地帯に差し掛かると畑には水牛、牛が寝そべり、池にはアヒル、ナマズが養殖されているのが分かりました。これは私がかつて見聞した大阪北部の 60 年以上前の農村の風景と同じです。バスは国道 1 号線を走っているけれど時間が完全に止まっていると感じ、とても懐かしくもありました。各住宅の敷地にはバナナ、ココナッツ、マンゴー等の熱帯植物が植えられていました。温暖な気候豊富な河川の水を利用してコメを中心とした三毛作が盛んです。

滞在中は日本米を全く食べることが出来ず、寂しい思いをしました。ベトナムの 7 か所でのホテル食事、昼食のため立ち寄ったレストランでは初めて食べる食べ物に感動を覚えました。白米は食べられませんでした。バイミー (フランスパンのバゲットをカットしたものに現地の野菜、肉、ハム等をはさんだもの) とフォーは最高に美味しかったです。フォーにはフォーガー (鶏) とフォーボー (牛) の 2 種類があり、どちらも美味しかったです。私は朝から食欲がなかったので、これらの食べ物に大いに助けられました。朝は暖かいフォーとトロピカルフルーツのマンゴー、パッションフルーツ、バナナ、パイナップルというのが私の定番でした。生野菜のうちパクチーは最初のうちは全く食べられなかったので

すが、道中で立ち寄った食堂で暖かい鍋料理があり、そこにパクチーを投入したところ、野菜がしんなりして、美味しく頂くことができました。現地で1週間も滞在したので体が順応してきたのかもしれませんが。人は環境が変わっても何でも食べられるということを学びました。丈夫な体に育ててくれた両親に感謝しないといけないですね。

1986年のドイモイ政策（刷新）以来、市場経済と外交解放によって、日本をはじめ世界各国の企業が進出し、ここ数十年の経済発展は目を見張るものがあります。今回の旅行で、ハノイにおいては都市のインフラ整備は、「まだまだこれからだなあ」と実感しました。フランス統治時代の古い建物を残しつつ、古い集合住宅、市場は取り壊して再開発される計画があるそうです。確かにハノイでは数年前から市の中心部で地下鉄の新規工事が現在進行中です。ハノイからホーチミンまで南に下る国道1号線はあるものの、高速道路はまだまだ未完成の箇所が多い。高速鉄道もハノイからホーチミンまで名ばかりで中身を伴っていないのが現状です。

今回フエからダナンまで170kmの区間に乗車する機会がありました。フエのホテルをバスで7時に出発し10分後に到着、フエ駅7時35分発の中部世界遺産接続鉄道に乗車して、約3時間後の10時30分に目的のダナン駅に到着です。

私のスーツケースは予めホテルから乗車のバスが先回りして、ダナン駅に運んでくれていました。今回乗車した列車はディーゼル機関車が牽引していて、客車は6両編成の古い車両でした。駅を発車する際には30両位連結した貨物列車が走って



いるのを目撃しました。ここでは、鉄道による貨物輸送が主流なのではないかと思いました。これは日本の50年前の旧国鉄による貨物輸送全盛期の頃を彷彿させてくれます。日本も1970年に開催の大阪千里万博以降に車が普及し、モータリゼーションの時代が始まり、今日に至っています。現地では街中を走っている車はガソリン車ばかりで、ハイブリッド車、電気自動車は皆無でした。庶民は4輪車ではなくてバイクを使用しているため、ガソリンスタンドはわずかでした。ガイドさんの説明によると、バイクのガソリンがなくなると空き瓶に少量のガソリンを入れてもらいバイクに給油するそうです。

また次回にベトナムに行く機会があれば、ハノイ、ホーチミンのいずれかの大都市でゆっくりと滞在したいです。ホーチミン市は東京都とほぼ同じくらいの面積で、人口は1000万人が暮らす大都市です。街の中心部には高層ビル、マンションが立ち並び、いったん裏通りに入ると庶民の住宅が健在です。

ハノイを訪れた8日目の4月13日（日）には街の中心部は厳戒態勢の前々夜ということで街路樹の植え込みの芝生を急遽、張り替える作業員の姿がありました。4月15日（火）には中国の習近平書記長がハノイを訪れるということで4月14日（月）からは当局は厳戒態勢の警備に入るとのことでした。ベトナムが今後どちらの方向で舵取りをするのかは分かりません。国家としては社会主義国なので、中国からの表敬訪問を受けるのは仕方ないのかも知れません。その中でも、日本とも人的物的交流が高まっています。ベトナムは生まれ変わってまだ若い国です。まだまだ伸びしろのある素晴らしい国です。私はこの国が今後さらに発展し、良い方向に変わっていくのをこの目で見届けたいです。



◀ 日本館の火星の隕石

「大阪・関西万博」楽しんでいま～す！

研究生 大林 泰子

皆さまは、「大阪・関西万博」に行かれましたでしょうか？私は、5/28の時点で6回行きました。最初は、大阪で開催するので「関西人として1回は行っておかないと！」というくらいの気持ちでした。なので、「大阪・関西万博」には、あまり興味が湧かず、TVで紹介される内容を「ながら聴き」する程度でした。

そもそも、1970年「大阪万博」に良い思い出がなかったからかもしれません。当時、父親に連れられお弁当を持って行ったのですが、会場は混んでいてパビリオンに入った記憶も、何かを買ってもらった記憶もなく、全く楽しくありませんでした。今でも、何故、母親ではなく、父親と一緒に行ったのかは謎です。

その後、2005年愛知で「愛・地球博」が開催されました。この時は、旅行気分と日立グループ館で自分のPCで育成した希少動物キャラクターとの再会、それとスタンプラリーをコンプリートする為、会社の同僚と4回行きました。

今回で日本開催3度目の「万博」の正式名称は「2025年日本国際博覧会」、略称「大阪・関西万博」なのですが、縮めるのが好きな関西人は、「カンパ」(?)とは言わず「万博」と普通に呼んでいます(当たり前かな?)。今回のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

行くにあたって、パビリオンの予約や様々なサービスにログインするには、「万博ID」が必要なので「シニアには少しハードルが高いなあ～」と感じました。デジタルの時代がここにも押し寄せて来ているのを実感しました。

登録手順ガイドを見ながら、メルアドや万博ID・パスワードなどを登録するのですが、これがまた面倒で慣れないから、少し時間がかかりました。登録出来た後も、来場日・入場時間の予約をしないといけません。パビリオンの予約

も「2か月前抽選」「7日前抽選」「空き枠先着申込」「当日登録」と抽選や空いていたら予約できるというもので、確実にゲットできるわけではありません。私は、抽選に外れることが多いので、予約しない時もあります。予約とは別枠で当日、会場内に「パビリオン・イベント当日登録端末機」が6カ所あり、空き枠があれば予約することが出来るのですが、あっという間に埋まってしまいます。この端末機には、長蛇の列ができていますので、並びながらスマホでも空き枠を検索するのがお勧めです。先に端末機で予約してから、スマホで別の予約が出来るという裏技もあるようです。

スマホ等が苦手な方には、パビリオンの事前予約は出来ないけど、来場日が決まっていれば、万博IDなしでも、コンビニや旅行代理店でチケットは購入できますよ。

入場ゲートは、地下鉄夢洲駅からの東ゲート、シャトルバスやタクシーなら西ゲートと決まっていますが、当初は西ゲートの方が空いていたのですが、今は利用客も増えて、9時、10時の入場時間は混んでいるようです。

私は、いつも電車なので、東ゲートから入るのですが、改札を出たところから大混雑で、ゲートに向かってぞろぞろと歩いていきます。途中、予約時間によって、進むルートが異なります。

ゲートの手前で、手荷物検査があり、まるで空港のようです。基本的には飲食類はOKですが、飲料缶・瓶類、酒類の持ち込み禁止です。荷物を受け取り、QRコードをかざしてようやく入場です。私は、通期パスなので、顔認証も



同時に行います。入場出来たのは、50 分後くらいでした。

東京ドーム 33 個分という広い会場内では、様々なパビリオンや万博のシンボルの「大屋根リング」「ミャクミャク」が出迎えてくれます。万博史上最多となる 160 以上の国・地域・国際機関が参加して、大阪で世界旅行が出来ます。まず、カラーコピーしてきた会場地図を広げ、現在地確認をします。

会場内は 8 つのゾーンに分かれています。「日本館」は、9 時 30 分～10 時 30 分と 19 時～は、予約なしで入れる（定員になり次第終了）と聞いたので、10 時 25 分に並び、入館出来ました。会場内の生ごみが微生物の働きにより分解され、バイオガスとして再生しエネルギーに変えるガスパラントや世界最大級の「火星の隕石」の展示はお勧めです。木造で造られた建物は、万博閉幕後は、日本各地で建物としてリユースされる為、解体や転用がしやすいように工夫されているそうです。

次に、全長 2km 大屋根リングに上がって一周しリング内のパビリオンを眺めました。この日は晴天でとても暑かったので、途中の芝生で休憩しました。万博の食べ物は高い・混んでいるというので、冷やした果物とお菓子とコンビニのおにぎりとお茶を持って行きました。（その後もこのセットは変わりません）

予約しないで入れるパビリオンもたくさんありますが、並ぶのを覚悟してください。因みに、イタリア、サウジアラビア、アメリカのパビリオンは人気があり待ち時間が長いです。スイス、フランスのパビリオンは比較的早く入れました。夕方になると、待ち時



間が短くなったり、当日予約が取れたりします。日が落ちてくると、パビリオンがライトアップされ、昼間とはまた違う光景を楽しめます。

ウォータープラザで、毎晩 2 回開催される「青と夜の虹のパレード」は、素晴らしいです。良い観覧場所は予約が取りづらいのですが、それ以外の席でも見る事が出来ます。2 回目の後の「ドローンショー」もお勧めです。

外国パビリオン併設のレストラン・テイクアウトは、展示館の中に入らないといけなかったり、展示館横の別の列だったりします。私は、ベトナムとインドとドイツの料理を食べました。とても大事なことです



が、会場内はキャッシュレス決済で、クレジットカード・電子マネー・コード決済しか使えないので、ご注意！

お土産コーナーは、東・西ゲートの傍にオフィシャルマーケットが 2 か所ずつありますが、混んでいます。スタンプラリーのスタンプパスポートはここで買えます。

疲れた時には、外周を走るバス「e-Mover」に乗ってはいかがですか？（1 回利用券 400 円）これから、暑い夏がやってきますが、会場内の通路は、照り返しがきつい為、暑さ対策をしっかりして行ってくださいね。

万博に行って便利なものを紹介いたします。
○会場地図をプリントアウト（無料地図はない）
○モバイルバッテリー
○帽子・日傘（晴・雨兼用）・レインコート
○日焼け止め ○サングラス
○軽食やお菓子
○お茶や水（水筒なら水飲み場で水を汲める）
○長袖の羽織もの（夜になると寒くなる）
○ウェットティッシュ

お役に立ちましたでしょうか？行く前には、しっかり予定を立てて、楽しんできてください。

* 上記は 5/30 時点の情報のため、変更・中止があるかも！万博公式サイトで確認してね。

大阪・関西万博に行ってきました！

情報学科 2 年 鈴木 好夫

★ 日本での万国博覧会

大阪・関西万博がメディアに不評であろうと、万博大好きの私にとって、冥土の土産にと決めていましたので、混雑の少ない時期にと GW 前に行ってきました。日本で開催された万博は今回で 6 回目、いずれも思い出深いものがありますが、スマホもデジカメもない時代で、写真が残っていないのが残念です。

1970 年大阪万博（日本万国博覧会）

1975 年沖縄海洋博（沖縄国際海洋博覧会）

1985 年つくば科学博（国際科学技術博覧会）

1990 年花の万博（国際花と緑の博覧会）

2005 年愛・地球博（日本国際博覧会）

2025 年大阪・関西万博（日本国際博覧会）

・日本での万博開催は、0 年、5 年でした・

★ 70 年大阪万博

「人類の進歩と調和」って、いったい何？

55 年前の夏の降る頃から始まった記憶があります。平日にはあまり行けなかったもので、夜間に何回か行って、めばしいパビリオンはほとんど入館しました。さすが「アメリカ館」アポロ 11 号の持ち帰った「月の石」は人気で、長時間並んで入館しました。



跡地は万博記念公園となり、国際文化学科の校外授業で民博にも行きましたが、シンボルの「太陽の塔」が、僅かな面影となっています。



★ 75 年沖縄海洋博

「海—その望ましい未来」

沖縄返還から 3 年、沖縄・与論のツアーで海洋博に行きました。道路は「車両右側通行」の時代、那覇から博覧会会場まで直行バスによる片道 2 時間の強行で、2 日間かけて見て回りましたが、ほとんど記憶に残っていません。

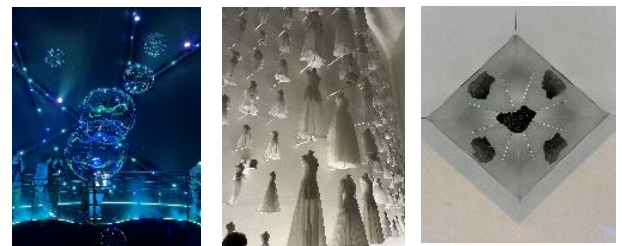
この跡地も記念公園になりましたが、名誉市民となった、シンボルの海上都市「アクアポリス」は老朽化で閉鎖となり撤去されました。

★ 大阪・関西万博

「いのち輝く未来社会のデザイン」やはり何？どんな世界と未来を見せてくれるのか、東ゲートで、パビリオンで入場を並んで待ちました。



「スイス館のシャボン玉」「フランス館のディオール」「アメリカ館のアポロ 17 号の月の石」など、入館した海外パビリオンの多くが、自国の取り組みを映像と音響で表現していました。



印象に残ったのは中南米とアフリカ、南太平洋の 26 の国々が集まった「コモンズ B 館」で民族博物館さながらの展示物による自国のアピールは 55 年前の記憶そのものでした。

私達シニアにとって「いのち輝く未来社会」は「Society 5.0」の経済発展と社会的課題の解決がなされ、幸せの世界になるのでしょうか？

『櫻 守』

研究生 田中 祐二

私が愛してやまない花！それは何と言っても桜です。理由は三つあります。

一つ目は春の訪れを象徴する花だからです。暗くて閉ざされた感のある冬がようやく終わりを告げ、待ちに待った春を迎え、私達に活気が戻り、気持ちが明るくなってきたのを見計らったかのように咲き誇り、寒さを忘れさせる“温か味”を感じさせます。

二つ目は見た目が本当に愛らしく優しげで美しい花だからです。葉が出るより先に花が咲くので、花の美しさが葉に邪魔されずに目立ちますし、また多くの花が太陽に向かって上向きに美しいのに対し、桜は下から見上げる人の方を向いて咲くので、満開の桜は見ていて圧巻の魅力を放ちます。

最後の三つ目は命の儚さを感じさせる花だからです。蕾からあつという間に一斉に咲き、あつという間に散るので、終わりの潔さが名残惜しさを残します。

開花の待ち遠しさ、満開の美しさ、散り際の潔さ・・・桜は本当に私の心を打つ花です。

水上勉の小説で『櫻守』（1969年初版）という作品があります。ひたむきに桜を愛し、桜を守り育てることに情熱を傾けつくした庭師の話で、桜文学の名作中の名作だと思っています。まず文章がとても綺麗で、自然の描写がとても美しく、葉づれの音、その色、風や光、水の流れを近くに感じるほどで、特に全体に現れる桜



の花の描写は圧巻と言わざると得ません。また関西を舞台にしていますので、関西弁の持つ独特の柔らかい言葉の響きが、この作品をひときわ味深いものにしています。しかし何

と言っても時代に逆らい、自分の良心に忠実に生きようとする職人氣質の人物を丹念に描いていて、とても引き込まれます。孤独で寂しい生い立ちを過ごし、桜一筋に生きたのも、両親から温かい愛情をほとんど受けなかった事と関わっていることが分かってきます。ダム建設で沈む村から樹齢400年の老桜を移植する場面には圧倒され、またソメイヨシノは墮落した品種で、古来の山桜や里桜が本当の日本の桜だという記述にはとても驚きました。

桜がとても印象的だった映画が「博士の愛した数式」

(2006年)という日本映画です。第1回本屋大賞を受賞した小川洋子の同名ベストセラー小説を映画化したもので、記憶がたった80分しかもたない天才数学博士



と子連れの家政婦との交流を情感豊かに描いたヒューマンドラマです。原作も好きですが、映画もとても良くて、博士の優しさ、言葉のひとつひとつに心が温まります。

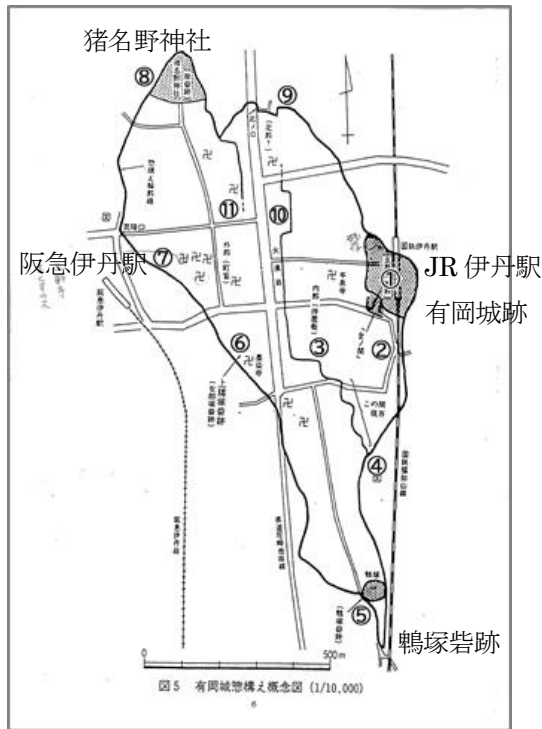
劇中に博士と家政婦が満開の桜の下を散歩する場面が登場するのですが、この桜のシーンがあまりにも綺麗で、今も目に焼き付いて離れません。この場面のロケ地となったのは長野県小諸市にある「懐古園」で、「さくらの名所100選」にも選ばれている名所だそうです。桜は本当にいろいろな映画作品に彩りを与える花です。

桜は下を向いて咲きます。何故かと言うと、私達に上を向いてもらうため、上を向かせるためだそうです。人生、俯いてはいけませんよ・・・桜は背中を優しく押してくれるような余韻を与えてくれる花です。そう言えば、私にとっていつも元気をもらい、そして心を癒してくれた日本映画「男はつらいよ」シリーズですが、倍賞千恵子演ずる寅さんの妹の役名が「さくら」でした。

有岡城惣構を歩く

研究生 徳永 悦子

2025年3月25日、伊丹ボランティア会のガイドさんと友人9人で歩きました。朝9時30分 JR伊丹駅カリヨン広場に集合。



有岡城惣構を歩く

①有岡城跡でガイドさんより有岡城と荒木村重の入念な説明をお聞きしました。その後南方面へ出発。荒村寺、忠魂碑へ。

②ハセンドウ坂

今は長谷道と呼ばれていますが、有岡城落城の際、織田軍に追われ逃げた道はハセンドウと呼ばれ、猪名川に逃げるには今は JR 福知山線を下る坂があり、それをハセンドウ坂と呼ばれたと言われています。今も逃げる武士達の姿が目につく様です

③溝落ち込み部

伊丹氏時代の段差です。

④大溝猪名井(ゆ)結合点

猪名川井(ゆ)とは今は使われていませんが、駄六川から引いている農業用水路です。結合点とは大溝と交わった地点です

⑤鴨塚砦

大阪道への虎口がわかります。有岡公園で休憩。

⑥上臈塚、墨染寺

⑦三軒寺、法厳寺

大楠木が有名です。

12時「すし善」で有岡弁当を頂きました。めちゃめちゃお腹が空いていて、4人がご飯をおかわりしました(元気でですね)。1時15分北方面へ出発

⑧岸の砦(猪名野神社)

⑨北の口

主要な出入口のうち北に有り 土地段差が実感出来ます

⑩大溝

⑪ 市立伊丹ミュージアム(旧岡田家酒蔵、旧石橋家住宅)

最後にミュージアムにある縮小された惣構の模型で今日歩いた工程を見て分かり易く説明して頂き良く理解出来ました。その後お茶をして5時に解散しました。

皆様は伊丹に城があったのを御存知と思いますが、この企画は織豊(しょくほう)時代の天守、野面積みの石垣、瓦、礎石の特徴を持ち伊丹台地の東縁の高みを利用した惣構と、南北の縦のラインの大溝からの水路又右側に伊丹メインストリートがある城を直に歩き、土地段差を実感して頂き、この城の城主であった荒木村重を、少しでも理解して欲しいという趣旨です。

ガイドさんの細やかな説明に皆様は本当に満足されたようで、ガイドさんありがとうございました。



発掘された有岡城遺構

最後に1日18000歩歩き又少し暑かったけれど晴天に恵まれ有意義な1日だったと思います。皆様おつかれ様でした。



有岡城址碑

「雨の日と月曜日は」

研究生 徳田 将之

邦題の曲名が「雨の日と月曜日は」という1971年にヒットしたカーペンターズの名曲があった。「雨の日と月曜日はいつも気が滅入ってしまう・・・」というような歌詞で、サラリーマンだった私には週の始まる月曜日が雨の日には共感を覚えるような曲名だったが、勿論そんな勤め人の多くが経験したであろう「ブルーマンデー」のことを歌っているわけではない。



「雨の日と月曜日は」は未収録だが、筆者の好きなカーペンターズのレコードジャケット「NOW & THEN」

その「月曜日」ではなかったが、昨年度(2024年4月～2025年3月)、けやき軽音楽クラブ(バンド名: THE GAKU-YOU)がデイサービス施設の訪問演奏日や練習日にしていた火曜日は雨の日が多く、楽器や演奏器材の運搬には本当に苦労させられた。

自称「超晴れ女」というメンバーや、筆者にしても現役時代のゴルフでは自他共に「晴れ男」で有名だったのにも関わらず、いったい誰が雨男・雨女だと「犯人捜し」で盛り上がったりましたが、極めつけは8月の台風襲来で訪問演奏が中止になったりし、とにかく散々であった。

その昨年度、けやき軽音楽クラブはデイサービス施設4箇所(13回)の訪問演奏とライブコンサートを5回(新入生歓迎、サマセミ、サマーライブ、けやき祭、クリスマスライブ)とほぼ当初の計画通りに実施することが出来た。

今年度も同程度の演奏活動を計画しているが、その中で何と言っても目玉は、3年ぶり3回目となる兵庫県立芸術文化センター(小ホール・座席数417席)で開催する以下のサマーライブである。今年10回目(2020年の第5回はコロナ禍で中止)を迎えるサマーライブだが、会場となるアリーナ形式のこのホールは、すり鉢状の谷底を舞台として階段状に配置された客席が取り囲み、一体感に包まれた音響効果抜群の素晴らしいコンサートホールである。

国田学園大学 シニア専修コース けやき軽音楽クラブ 第10回 THE GAKU-YOU サマーライブ

2025. 8.26(火曜) 兵庫県立芸術文化センター
開演: 14時 神戸女学院小ホール
(開場: 13時30分) (阪急西宮北口駅 南改札口すぐ)
終演: 16時(予定) 入場無料 全席自由
事前予約制(詳細下記)

「演奏予定曲」(ゲスト出演の国田学園大学 軽音楽部の演奏と THE GAKU-YOU とのコラボも予定しています)
・ブルー・ハワイ (エルヴィス・プレスリー) ・ザライ (加山雄三・谷村新司)
・イエスタデイ (ザ・ビートルズ) ・糸 (中島みゆき)
・心の旅 (チューリップ) ・いのちの歌 (竹内まりや)
・など過去にリクエスト頂いた楽曲を中心に20曲程度。
(注)演奏予定曲は変更する場合があります。

「お申込み(事前予約)方法」 締切: 8月17日(日曜)

- A 軽音部員へ直接(口頭、もしくはメモ等)
- B 右のQRコード
- C <https://forms.gle/ceUBqZ7g9vva3JdRA>



「当日入場のご案内」

小ホール入り口前の受付デスクでお名前をお伝えください。
「事前登録名簿」と確認後にご入場頂きます。

・ご家族、友人、知人などお誘いいただき、沢山の皆さまのご来場をお待ちしております。

主催: 国田学園大学 シニア専修コース
けやき軽音楽クラブ THE GAKU-YOU

(注) 大学名変更: 国田学園女子大学から国田学園大学へ(4月1日より)

演奏予定曲に過去15回の軽音ライブ・アンケート(歌手・グループ部門)で頂戴したリクエストNO.1のカーペンターズの楽曲を組み込めてないのが心苦しいのだが、何はともあれ、今年度月曜日に変更した練習日とボランティア・デイサービス施設訪問演奏日は「雨の日と月曜日は」にならないことを願っている。

マラソン旅行で 全国各地を訪ねたい

国際文化学科 3 年
長久 武司



八丈島パブリックロードレース ▲

59 才で初マラソン

仕事を辞めて自由時間が増えたら何をするか、50 才代後半から少しずつ考えていました。今まで出来なかったこと、苦手だと思っていたことに挑戦したいと思いました。

それでまず決めたのがマラソンです。59 才の時に初めてフルマラソンに挑戦しました。淀川河川敷を走る市民マラソン、4 時間 36 分 29 秒で完走できました。

完走を「上出来だ」と喜びながらも「もう少しできる」と欲が出ました。

この時は 30 km あたりで体が動かなくなっていたのですが、それがなければもう少しタイムを縮めることが出来ると考えました。サブ 4（4 時間を切る）を行けるのではないかと、そう思い、サブ 4 を目標にちょっと力瘤を入れて練習しました。

しかし結局は、そこへ届きませんでした。これまでたいした運動もしたこともなく、40 代の時にマラソンを誘ってくれた後輩もいましたが、その時は「そんなあほなことできるか」と一蹴していました。

還暦からのフルマラソンですが、タイムを縮めることが出来ると本気で思いました。ハーフマラソンでは何度か 2 時間を切ることが出来たので、もう一歩と頑張ってみましたが無理でした。フルとハーフは次元が違うものとなりました。

神戸マラソンを 3 度走りましたが、毎回 30 km 時点で足が痙攣して、棄権はしなかったものの、後は歩いたので 5 時間を超えてのゴールでした。

35 都道府県で走る

マラソン大会は全国各地であります。それを知り、サブ 4 は半ばあきらめて、観光を兼ねて全都道府県の大会に出ることを目標にしました。1 年で 6 回ほど走れば古希までに回れるだろうと思っていました。しかしコロナ騒動があつて、全国的にマラソン大会が一斉に中止になりましたので、予定は大きく狂いました。

現在まで 35 都道府県を回りました。フルマラソンは 10 回ほどで主にはハーフマラソンを走っています。一度、膝裏をケガをして、それからハーフも辛くなってきました。レースを走った後で、観光に支障が出ると困るので、今年は 10 km 等に出るようにしました。

振り返ってみると 60 代前半は体力がありました。大会は午前中ですから、走った後でも一カ所二カ所と名所旧跡を訪れていたのです。

旅行日程はだいたい三泊四日で、自家用車で行くか、現地でレンタカーを借りて回っていますので、広範囲の移動が可能です。

私が好んで行くのは郷土資料館、歴史博物館、平和記念館などと呼ばれる、その土地の歴史を伝える施設です。そこを訪れると縄文時代から現代にいたる人びとの暮らしぶりが展示されています。

山や川、大地と共に生きてきた人々、歴史の教科書には載っていないけれども知恵と力で自然に働きかけてきた姿があります。時代が下って、封建社会になると争いが増えてくるなという印象を持ちます。

多様な自然に恵まれた日本列島ですが、人口

密度は低くとも太古から人間が住んでいたことがよくわかりました。

印象的なマラソンコース

いいマラソンコースはたくさんありましたが、フルとハーフ一つずつ気持ちよく走れた大会を紹介します。

ハーフでは八丈島パブリックロードレースです。八丈富士を 1 周するコースで、海沿いの道を走ります。小さな起伏が連続し、最後の 2km 程は緩い登りというけっこう厳しいコースですが、八丈島の自然が満喫できます。

時期は 1 月で、走っている 2 時間ほどで何度か小雨が降っては止み降っては止みを繰り返しました。でもちっとも寒くないのです。亜熱帯の気候と言われますが、気持ちのいいシャワーを浴びているようでした。

フルマラソンでは四万十川桜マラソンです。時期は 3 月末で、満開の桜並木を見ることが出来ます。高知県四万十市の JR の駅でいえば窪川から土佐昭和まで、日本一の清流と言われる四万十川沿いの道路を走ります。中流域の緩やかな流れに沿った下りのコースですからとても走りよいです。ところどころに集落があり、民家の軒先をぬけるようなところもありました。



他にも洞爺湖畔を巡るコース、富士山を見ながら走るコース、荒涼で起伏の厳しい秋吉台コースなどを思い出します。

マラソン旅行はすべて夫婦一緒に行っています。そして地酒の純米吟醸を楽しんでいました。残り 12 県も走り抜きたいですね。

国際文化学科 14 期生 同期会開催

「お久しぶりー」の声が・・・

研究生 三木 静子

私たち国際文化学科 14 期生 14 名が卒業したのは 2019 年 3 月です。その年の 5 月に、仁川沿いを散策して「六甲保養荘」で入浴と食事をしたのが、1 回目の同期会でした。その時に世話役を決め、毎年 5 月頃に開催することも決めましたが、コロナで外出もままならず、集まって会食など考えられない事態でした。

その後コロナが収束し学校も再開され、昨年度末「同期会を」との声が上がり、6 月 1 日に 2 回目の同期会をもち、9 名が参加しました。

集合場所は阪急三宮駅改札でしたが、来る人ごとに「お久しぶりー」の声から、会話が始まりました。最初の同期会から 5 年も経っての再会ですから、積もる話がたくさんありました。

食事会でも、園田学園シニア専修コースを離れてからの、それぞれの様子を交流しました。今も現役で保育の仕事をしている人、社交ダンスに励んでいる人、校外で山口先生の世界史を学び続けている人、親の介護などで学びを休止中の人等々、皆さんのあくことなき情熱に刺激を受けました。

会話も弾み、「松山先生と行くフィールドワーク」の思い出で盛り上がりました。遠野旅行中に入れ歯を忘れた事件、1015 段の石段をカモシカの如く登る友の背に負けじと必死に登りきった立石寺、「田んぼアート」で突然の取材インタビューを受け、その夜の NHK ニュースで放映されたこと等々、懐かしく当時の思い出話に花が咲きました。3 時間余り和気あいあいと和やかに語り合い、次回の再会を約束して散会しました。



よもやま話の会

ひと・こと・もの にであう

研究生 河田かつのぶ

コロナ禍の時期に学外で、学びで繋がってきたよもやま話の会。現在は年に10回程度、教室での報告と交流。その後の懇親会で親睦を深めています。

33回

12月12日

■人類5000年の歴史がわかる年表作り

松原 光治さん

15年ほど前から、世界史年表を作ってきた松原さん。数年前から『新しい世界史』と言われ出したことをきっかけにその関係の本を読み、「人類5000年の歴史がわかる年表」を仕上げられました。年表作りを通して、『新しい世界史』との出会いや、分かったこと(＝知らなかったこと)などのお話でした。

■日本の食文化研究 飯田 光治さん

飯田さんの出身地の福井県大野市は、日本のおいしいそばランキング1位の越前そばがあり、日本で唯一半夏至に焼き鯖を食べる風習が残っている地域です。そうしたことや、日本各地の「食」に関わる店や地域をフィールドワーク、歴史と「食」とのつながりについてなど、調査・研究の報告でした。

34回

1月15日

■はじめてのモンゴル旅行
—草原の国の歴史と現在—

関 君枝さん

関さんたちは国際文化学科の講座でモンゴルについて学び、多くの刺激を受け、「自分たちの目、体、心でモンゴルを感じよう」と、学科の仲間と共にモンゴルを訪れます。モンゴルの人びとに出会い、ゲルに泊まり、モンゴル料理を食べるなど、ひと・こと・ものと出合ったこと

や歴史について、グループを代表して関さんから報告がありました。



(写真:チベット旅行の写真を示して

お話をする関君枝さん)

■わたしと映画

長久 武司さん

長久さんは、神戸市民に良質な映画を届ける歴史のあるサークル活動を長年取り組んでおられます。映画を観る前の学習会では、映画の舞台(テーマ・地域の歴史やくらしなど)を研究者などから聞き、調べてから映画を観ることで、深く理解できるといいます。そうした映画への想いや活動、魅力などのお話がありました。

35回

2月12日

■3人の“中村さん”のことから

桜井 秀也さん

最近桜井さんは、89歳で今でも活躍する生命誌研究者の中村桂子さんと、徳島県・上勝町で「薪で暮らす仙人」中村修さんに、出会います。また、アフガニスタンで用水路を建設した医師・中村哲さん。その3人の“中村さん”の生き方、暮らし方の紹介があり、その素敵な生き方を共に考え、話し合いました。

■私が選ぶ2024年

日本映画と外国映画ベスト5

田中 祐二さん

年間100本以上の映画を観て、本学の同好会「映画を観る会」で作品解説や見どころを発信しておられる田中さん。その中から田中さんが選んだ2024年の日本映画と外国映画ベスト5の紹介です。日本映画1位は『夜明けのすべて』で、観ていて心地いい映画でしたなどの映画評を聞くなど、映画への誘いがありました。

★参加ご希望の方は、河田(080-9351-7979)か
桜井(090-6904-9738)まで。

第3回 THE GAKU-YOU 新入生歓迎ライブ

研究生 徳田 将之

5月26日(月曜)、第1音楽室で新入生歓迎ライブ(音楽会)を開催した。来場者34名の内、15名(文歴3名、国際4名、情報8名)が新入生だったので、新入生全体46名(文歴9名、国際15名、情報22名)の約1/3の方にお越しいただいたことになる。

事前予約不要

THE GAKU-YOU

新入生歓迎ライブ

日にち：5月26日(月曜)

場所：第1音楽室(1号館4階エレベーター前)

開演：14時40分(開場：13時30分)
(注)開場時間から開演時間までは「リハーサル見学会」

終演：15時40分(予定)

演奏予定曲：ヤングマン(YMCA)、心の旅、いのちの歌、
風、あの素晴らしい愛をもう一度、など10曲。

2・3年生、研究生、又シニア以外の学生さんのご来場も大歓迎です。

主催：国田学園大学シニア専修コース けやき軽音楽クラブ
お問合せ先：makki747yt@gmail.com 徳田

過去、情報学科へはPR不足でいつも参加者が少なく頭痛の種だったが、今回初めて授業前の情報教室へ出向き、上記のチラシを配布して直接PRさせていただいた効果もあり、昨年と比べ新入生の参加者数9名増の内、6名が情報学科であったことが嬉しい。

さて、当日のプログラムには来場者にもステージにご登壇願ひ一緒に歌っていただくコーナーも設け、また新入生にはインタビュー形式で自己紹介もお願いしたが、これらの視聴者参加型のライブ(音楽会)も来場者のアンケート結果を拝読すると大好評でこれまた嬉しい。

1. 亜麻色の髪の乙女 島谷ひとみ
2. ヤングマン(Y.M.C.A.) 西城秀樹
3. 心の旅 チューリップ

♪ 飛び入り歓迎! ステージで一緒に歌おう!!

4. 風 はしだのりひとことシューベルツ
5. 糸 中島みゆき

6. ブルー・ハワイ エルヴィス・プレスリー
7. 可愛いいベビー 中尾ミエ
8. いのちの歌 竹内まりや

♪ みんなで歌おう!!

9. あの素晴らしい愛をもう一度 加藤和彦・北山 修

けやき軽音楽クラブ THE GAKU-YOU (ザ・ガクユウ)

ギター： 徳田将之 2013年入学 研究生(情報卒)
山根邦男 2017年入学 研究生(文歴卒/国際卒)

ボーカル： 井上礼子 2011年入学 研究生(文歴卒)
平田好子 2011年入学 研究生(情報卒)

ピアノ： 繁治史子 2019年入学 研究生(文歴卒)

カホン： 油川雅英 2023年入学 文学歴史学科 3年生

【当日配布されたプログラムの一部】

そのアンケートには「一緒にステージで歌えてとても楽しかったです。声を出すと気持ち良かったです!」「懐かしい曲をたくさん歌えて楽しかったです」などと多くの方から楽しいひとときを過ごせて良かったとの感想が寄せられた。

まさに、あなた(YOU)と一緒に音楽を楽しみましょう、という我がバンド THE GAKU-YOU(学友・楽友)がモットーにしているコンセプトで、我が意を得たりである。

「百聞は一見にしかず」、新入生と一緒に楽しくステージで歌っているYouTube動画「心の旅」をご覧ください。



https://www.youtube.com/watch?v=zyAUnO3_a_g



思い遣る

ワン・ワールド・フェスティバルにて

研究生 井上 聖明

「共に生きる世界を」～今こそ思うみんなのいのち～ 世界では、様々な原因で今この瞬間にも多くの尊い「いのち」が失われている。この事実をもっと深く知り、自分たちで何ができるかを語り合う場にしたい、が今年のテーマ。

私は 85 組の各種 NPO 団体や大学、企業、JICA などが出展している展示ブースに向かい、学園で知り合ったご夫婦がボランティアで支援されている「国際地雷処理・地域復興支援の会」の展示を最初に見せて頂きました。

おもにカンボジアにおける地雷処理についての展示ですが、地雷を撤去し、土地を畑に変え、そこに産業を創ることがいかに大変なことか。いまでも世界中で戦火は止まず、地雷敷設も繰り返されている状況を考えると、なんとも切ない思いがしました。



このご夫婦は、カンボジア留学生の生活支援や交流会などにも尽力されていて、私もその催しに何度か参加させて頂きましたが、留学生の皆さんからとても信頼されておられて、いつも頭の下がる思いがしています。

「ボルネオ緑の回廊プロジェクト」

(人間と動物が共に生きていくために)

ボルネオの森は多くがパーム油の原料アブラヤシのプランテーションになり、森に棲んでいた野生動物たちは人間に追い出されている。パーム油は身近な食品や日用品に使われていて

今も森は減り続けている。

このことを危惧されているボランティアの方たちは、毎年現地での植林作業や手入れに出かけられているそうで、その中の一人、私と同年



代と思われる方の説明では、全てを森に返すことは出来ないもので、点在する森の間に樹木を植え育てることによって動物たちの移動可能範囲を広げ、生き延び、繁殖できる場所にする活動とのことでした。小さなブリキ製のワッペン一個で一本の苗木が得られるとのことなので、数个購入してほんのささやかな応援をしました。

「和歌山大学の国際支援活動」

(世界に一つでも多くの笑顔を作るために)

タイでの障がい児童支援・インドネシアでの教育支援・国内での在留外国人支援などを先輩から受け継いで続けています、

と生徒さんたちが写真や資料を広げながら熱心に説明してくれました。



ともすれば「自分の事だけ、自国の事だけ」の風潮が広がる世の中ですが、私の孫世代の学生さんから同年代のシニア世代まで、目を輝かせながら楽しそうに話される姿に、たくさんの「思い遣る」を頂いて帰りました。

で、私に出来ることは？

《ざっきちょうから》

研究生 金森 扶美子

負けず嫌い ++++++

何かを達成する人は、みんな“負けず嫌い”の性格のような気がする。最も顕著なのはスポーツなどアスリートに多い。一番印象に残っているのは卓球の愛ちゃんである。ちっちゃい時から負けると涙を流して悔しがる。なんと微笑ましい姿と大人の私は思ったものだ。

負けず嫌いの人は、スマホ検索によると、勝負に勝って周囲より優れていると自分自身や周囲にアピールしたいという心理が働くのだそう。

競争心が強く、失敗を恐れず、チャレンジ精神、妥協しない、向上心、努力家、粘り強さ、勝気、負けん気、やる気等々。負けると耐え難いほど悔しい気持ちが湧いてくるので、人よりも努力して勝とうとする結果、高い理想をかなえられるところが長所。短所は頑固になりやすく、嫉妬心が強いそう……生きるのがしんどく難しそう。

一方負けず嫌いの対義語としては、無欲、無気力、マイペース、無頓着、柔和、おおらか、負けることをあまり気にしない、諦めやすい、争いごとが嫌い、競争心がない、平和主義、公平平等、事なかれ主義、すぐへこたれる、根気がない、執着心がない……生きるのが楽。はい、これは私です。

私が負けず嫌いを発揮したのは、小学 6 年生の運動会の 200m 走で勝ち抜いてきたライバルの「どんちゃん」(渾名)には絶対負けたくないと決勝戦に臨んで、堂々 1 着になったこと。後にも先にもそれだけ。

私が幼い頃泣いたのは、4 歳頃今でいう子供のお使いで母が八百屋さんに大根を一本買いに行かせたけど、帰り道 10 歩ほど歩いた所で重い大根を抱えて泣いていた記憶がある。通りかかったお隣のおばちゃんが家まで連れて行ってくれ

たっけ。それは悔しいのではなく、単に重くてどうしたらいいか泣けてきただけである。

私なんか自分の限界をさっさと感じて諦めてしまう。争いごとが嫌いなので、戦う競技、例えばボクシングやレスリングは大の苦手である。スポーツは楽しんでやり見るものであってほしい。そんなに頑張って、一番、トップというのがそんなにいいことなのか？ 敢えて 2 番以下を選びます。プロ野球球団でも、車業界でも…へそ曲がり論理です。逃げるが勝ち、負けるが勝ち。

でも、もし if 私が負けず嫌いの性格だったら、もっと一廉の人生を歩んでいたかな？ など今更言ってみてもしかたんなか！

ある一日 ++++++

朝、バスに乗る。ある停留所で座っていた人が降りていく。乗り込んできた人がその席に座ろうとして、“あ、忘れ物”と叫んで呼び止めたが、自分のではないと言う。見ると一万円札である。降りた男性はずっと一万円札を尻にしいて座っていたのか！ バチがあたるか、それとも福が来るかな？と思うと一人ニヤリとする。

2 限目の国際社会の諸問題の授業。中国の科学技術の進歩に日本の衰退ぶりがひしひしと感じられ、ため息をつき落ち込んでしまった。日本の未来は暗い。

帰りの阪急電車、十三で盲導犬を連れた男性が電車を待つ。初めて遭遇。だが、乗り込んだ男性はすぐ手摺をつかんでしゃがみこんだ。犬はなかなかいう事をスムーズに聞かないようだ。電車がふいに大きく揺れた途端、男性は床に転がり倒れてしまった。傍にいた私は慌てて起こそうとしたが、重い。周りの人も駆け寄ったり声がけするが、何も言ってくれない。具合が悪いようで、そうでもない。同じ豊中で降りた時「大丈夫ですか？」にも、「いいです、構わないでください」って感じ。

初めて盲導犬を連れた方に出会ったけれど、いったいどういう風に接したらよかったのだろうか、スマホ検索してみるのだった。

わたしの練習作品

水彩画

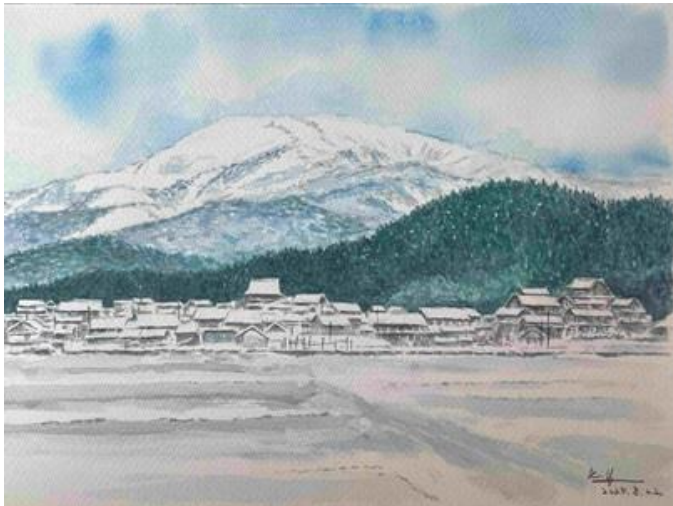
研究生 山根 邦男



長野 上高地 (2025.1.16)



京都 八坂の塔 (2025.2.20)



滋賀 伊吹山 (2025.3.22)



京都 哲学の道 (2025.4.18)

けやき遊歩クラブ

活 動 状 況

研究生 川田 郁夫

5 月 23 日に令和 7 年度の総会を開催しました。今年は、17 名の新生と、新たに 4 名の入会者があり、逆に退会者が 24 名となったため、会員数が 3 名減って 82 名で新年度をスタートすることとなりました。当初は大幅な会員数減を見込んでいましたが新生の多数参加によりうれしい誤算となりました。運営委員も新人 3 名が加わり新しい体制で再スタートすることになりました。

昨年度は例会を 8 回計画しましたが、3 月の大阪城お花見クルーズが雨天のため中止になったのは大変残念でした。来年の花見で再チャレンジできればと思っています。

昨年度は、初めての試みとしてトレッキングスタイルの京都東山山登りを実施しましたが、賛否両論があったようです。

京都伏見の例会では、見学場所の都合で完全に 3 班に分かれての行動を行いましたが、いつも以上に親睦が図れたのではないかと思います。

年末の忘年会で、これも初めての試みとしてアンケートの実施と例会の満足度調査を実施いたしました。満足度は非常に高く運営委員の士気向上に繋がり、期待するものが大きいと改めて認識いたしました。

今年度は 7 回の例会を予定しております。会員の要望を取り入れて計画いたしました。例会を有意義な活動に繋げるべくガイド付きを 2 回取り入れております。

運営委員全員で良い企画になるよう頑張りますので今年度もよろしくお願いいたします。



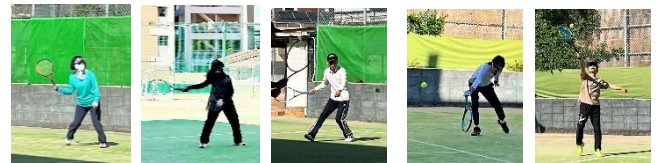
けやきテニスクラブ

テニスクラブの活動

情報学科 2 年 鈴木 好夫

☆ クラブ活動（写真は 4 月）

シニア専修コース受講時期の毎週木曜の午後に校内コートでテニス練習会をしています。



☆ 校外テニス会（写真は 3 月）

授業がない時期（9 月、3 月）に猪名川公園でテニス会を行っています。参加は自由で、元クラブ員やテニス講座の方も参加されました。



☆ テニス活動と総会（写真は 1 月）

令和 6 年度・最後のテニス会の後、塚口駅前のお好み焼屋さんで定例総会を行いました。



☆ 大学テニス部とテニス会（写真は 2 月）

今年 3 月卒業のテニス部の学生さん 5 名とシニア 7 名とが参加した交流会で、学生さんとシニアがペアとなりゲームを楽しみました。



けやき軽音楽クラブ

QR コード、使ってますか？

研究生 徳田 將之

4 月 10 日(木)のシニア専修コース入学式の「クラブ・同好会紹介」コーナーで、壇上から「QR コードでイベントの申し込みやWEBページの閲覧などをされたことがある方はおられますか？」と挙手をお願いしてみた。

と言うのも、けやき軽音楽クラブの紹介資料にサマーライブのチラシも折り込み、そのなかで初めてQRコードからも事前予約申込みができるようにしたからなのだが、意外にも新入生 46 名の誰からも手は挙がらなかった。

まあ、緊張した入学式の雰囲気の中では挙手することに抵抗のあった方もおられただろうが、それはともかく、新入生に限らずこの記事を読まれている読者諸兄で、使われたことのない方もお手持ちのスマホで試しに以下のQRコードから THE GAKU-YOU のライブの様子などを覗いてみてください。(スマホのカメラで焦点を合わせ、iPhone なら黄色で「YouTube」と表示された箇所をタッチすれば閲覧できます。)



2022 年の芸文(小ホール)サマーライブのフィナーレで演奏した「あの素晴らしい愛をもう一度」

このような雰囲気のステージですが、長い夏休み期間中の折り返し辺りに開催する今年の芸文サマーライブへ友人・知人等とお誘いあわせのうえ、お越しになりませんか？



事前予約申込み用の Google フォームです。
「docs.google.com」をタッチしてください。

けやき朗読倶楽部

新年度活動開始

代表 金森 扶美子

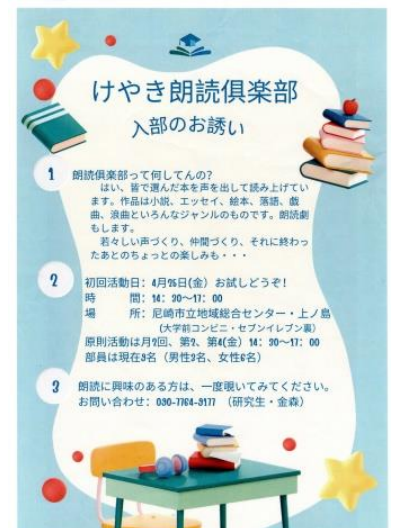
2025 年度新入生入学式でのクラブ紹介が 4 月 10 日 AV ホールでありました。

毎年朗読倶楽部の地味さもあって、クラブ紹介やチラシの甲斐もなく入部新入生の姿を見ることはなかったので、昨年は壇上で話すこともないし、どうせどなたも…とひねくれた考えで、クラブ紹介をパスしてしまった。でも他のクラブはきちんとなさっていて、後で後悔したものです。

それで今年はやはり真面目にしようとして、頑張っ人目につくチラシも作成し、壇上では少し変わった趣向はないものかと頭を捻り、考えたのが朗読をするということ。

部員 3 人で朗読の基礎・芥川龍之介「蜘蛛の糸」落語小唄「天の三人旅」金子みすゞ「星とたんぽぽ」を読んで、その後に「部員募集しま〜す」とすれば、ながなが話をしなくてもいいということを考えついた。おかげさまで新入生お二人の入部が叶いました。

特に歳と共に声の出にくくなるシニアには、カラオケが一番いいと思うけど、歌うことに少し抵抗がある方にはもってこいなのが朗読です。



活動：毎月第 2、第 4 金曜日 14:40~17:00

場所：大学前のコンビニ・セブンイレブン裏
「尼崎市立地域総合センター・上ノ島」

朗読に興味ある方は覗いてみてください。

お問い合わせ：090-7764-9177

けやきITを楽しむ会

入会者を募集します

研究生 中村 米三郎

けやき I T を楽しむ会は、
Information & Communication Technology
I C T の実用的な活用と
基本的な知識の取得を
目的とします。

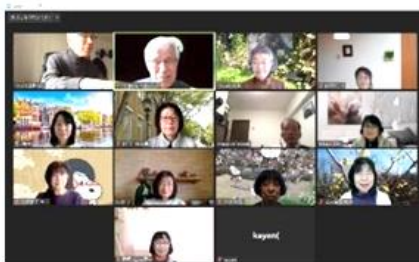


「国家試験 I T パスポート」の
過去問題から I T 全般を勉強して、
I T リテラシーを高めます。
I T リテラシーとは、I T を理解して
使いこなすための知識やスキルのことです。

勉強日は、
第二・第四火曜日 10 時 30 分～12 時です
7 月 8 日から勉強を開始します。

「ZOOM」を 
使って勉強します。
なお、「ZOOM」の資料は提供します。

入会申込みは
けやき I T を楽しむ会
代表 中村までメールをお願いします。
メール・アドレス
f z p 0 3 6 6 7 @ n i f t y . c o m



「ZOOM」による勉強会の風景

けやきゴルフ同好会

活動状況

研究生 川田 郁夫

昨年度は 7 回のけやき会を計画いたしましたが、雨天で 2 回中止となり 5 回の開催となりました。参加者確保が難しく、客員あるいは卒業生の応援を得てなんとか開催が出来ました。

今年度は、新 1 年生 2 名の入会がありました。6 名の退会があり、会員数は 7 名に減りました。卒業しても例会には参加して頂けそうなのでなんとか会は継続できそうです。

今年度は 3 月末から活動を再開し、今までに 3 回コンペを開催しております。新入生の参加は 6 月からになります。新しいメンバーと楽しく活動できるよう運営していきます。今年度 3 回分の参加者の画像を添付いたします。

センチュリー三木ゴルフ倶楽部



太平洋クラブ有馬コース



レークスワンゴルフ倶楽部



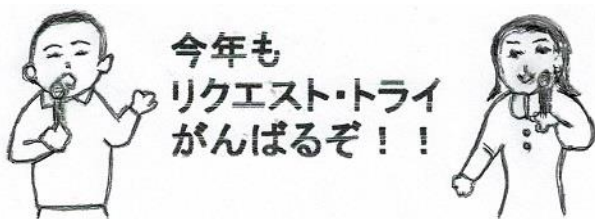
けやきカラオケクラブ

今年のリクエストは？

研究生 木下 俊造

毎度おなじみ出はいり自由、おしゃべり自由のゆる〜い「けやきカラオケクラブ」は、第 1 回例会から新入生の参加をいただき、第 2 回例会の歓迎会に続き、皆様からのリクエストもいただいて、あの歌この曲・リクエスト・トライ、夏休み前の 7 月例会には 3 minute トークも予定しています。

例会は主に水曜日、ジャンカラ阪急塚口店の複数の部屋か 25 人可能なステージルームで実施し、終了後の 90 分ミーティングも含め、皆様なごやかに楽しんでおられます。



以下、初の完唱となった、昨年のリクエスト曲と一昨年末唱曲を到着順に紹介しますので、どんな曲があったのか見ていただければありがたいです。

2024年リクエスト曲		
曲名	歌手	
1 ラブストーリーは突然に	小田和正	
2 桜坂	福山雅治	
3 Still love her	TM NET WORK	
4 Get Wild	TM NET WORK	
5 ファイト	中島みゆき	
6 リフレインが叫んでる	松任谷由実	
7 栄光の架橋	ゆず	
8 いとしのエリー	サザンオールスターズ	
9 津軽海峡冬景色	石川さゆり	
10 黒の舟唄	野坂昭如	
11 林檎の樹の下で	ディック・ミネ	
12 星めぐりの歌(宮沢賢治の歌)	鈴木慶江他	
13 Over the Rainbow(虹の彼方に)	Judy Garland	
14 翼をください	赤い鳥	
15 ブルースカイブルー	西城秀樹	
16 海よ	中島みゆき	
17 地上の星	中島みゆき	
18 未来へ	Kiroro	
19 浪漫飛行	米米CLUB	
20 はなひとひら	石井竜也	
21 もらい泣き	一青窈	
22 ハナミズキ	一青窈	
23 赤いランプの終列車	春日八郎	
24 ふるさとの話をしよう	北原謙二	
25 人生の扉	竹内まりや	
2023年リクエスト未歌唱曲		
26 survival dance(サバイバルダンス)	trf(ティーアールエフ)	
27 ロンリーチャップリン	鈴木聖美	
28 Happy birthday	back number	
29 三日月	絢香	
30 関白失脚	さだまさし	
31 男と女のラブゲーム	日野美香・葵司郎	
32 こめんね	高橋真梨子	

「けやき便り」編集クラブ

「けやき便り」第 32 号を発行

研究生 河田かつのぶ

今号も 40 ページを超えました。3 人の先生から特別寄稿をいただきました。それぞれの先生方のテーマから学ぶとともに、個性や人々が文章から感じられ、読んでいて楽しく励まされました。

また恒例の「新入生紙上座談会」も、園田シニア専修コースへの期待や、キャンパスライフの捉え方がわかる言葉が並んでいて、新入生の心意気が伝わってきました。クラス委員を置かなくなり 2 年目になり、どなたにインタビューをしていいのか迷いましたが、クラブ員の人脈と臭覚をフル活動させての「突撃依頼」となりました。

毎号続けて投稿される方がいますが、「〇〇さんの記事、楽しみにしていますよ」との声を聞くことがあり、固定ファン・読者がいることがわかりました。

一方、新たな書き手や取材させていただく方も増えつつあります。各クラブの活動は勿論、さまざまな活動や個人の研鑽を文章化して編集クラブに届けられた 32 号です。皆さんのキャンパスライフの一部が誌面に載りましたが、もっと書き手や活動を掘り起こせたらと思います。

編集クラブ員が 2 名増え、企画や取材などで、新たな刺激を受けています。おまけといっは何ですが、編集会議後の打ち上げ会も、新たな風(?) が吹き始めています。



「編集会議」の様子 (2025.6.23)

社会連携部

生涯学習センターからの

お知らせ

1. 大学が共学化しました

この春、本学は共学化という新しい節目を迎えました。

1963 年に開学した短期大学部とともに、約 60 年にわたって女子大学としての歴史を築いてきましたが、このたび新たな一步を踏み出しました。この 4 月からは、まずはビジネス学科・こども学科の 2 学科が共学化となり、約 30 名の男子学生を迎えています。

キャンパスにはこれまでとは少し違った雰囲気広がりが、日々の風景にも新鮮な空気が感じられます。学生たちの交流もより多様になり、学びの場としての彩りが増したように思います。

こうした変化の中でも、皆さんがこれまで通り、それぞれのペースで学びを楽しんでいただけるよう、事務局一同、引き続きしっかりとサポートしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



2. 熱中症に注意！

暑さが厳しくなる季節です。熱中症予防のため、こまめな水分補給を心がけましょう。教室内は空調の効きに差があるため、羽織ものを持参するなど、体温調節しやすい工夫をおすすめします。

3. 後期公開講座のご案内

8 月下旬から、後期の公開講座の受付がスタートします。シニア専修コースを受講中の

方の中にも、公開講座と一緒に楽しんでおられる方がたくさんいらっしゃいます。

講座のチラシは 8 月上旬に社会連携センターのホームページに掲載予定です（※後期はご自宅への郵送はございません）。ぜひこちらの QR コードからチェックしてみてくださいね！



2025年度後期開講の講座

A：教養・文化講座

近松講座

講師：坂本 美加（本学近松研究所研究員）

感情の心理学

講師：井山 里美（JICA 関西顧問産業カウンセラー）

B：芸術・創造講座

お菓子づくり

講師：木原 祐希（本学短期大学部生活文化学科准教授）

C：健康講座

東洋医学を用いた健康法 ～ツボマッサージ、お灸～

講師：泉谷 泰行（本学人間健康学部人間看護学科教授）

※講座名、講座内容が変更になる場合がございます。ご了承ください。★当センターHP等に 8 月頃掲載予定です

予告

予告にある講座以外にも、たくさんの講座を準備中です。ぜひお申し込みください。

▶ 編集後記 ◀

▶ まだ少し気が早いですが、今年の漢字を一文字で表すとしたら「米」で、流行語大賞は「古古古古米」ではないでしょうか？ 今回のけやき便りを読んで漢字一文字で表すとしたら「充」だと感じました。エネルギーに充ちあふれている方や、何か熱中できることに取り組んで充実した時間を過ごしている方・・・色んな刺激を受けることができました。自称けやき編集クラブの営業担当の私、これからも投稿のお願いに伺いますのでよろしくお願いいたします。
酒井 恵理子

▶ 関西万博の記事を書いた後から、ショーの休止、ドローンショーの時間変更、入場予約時間を開放するパビリオンが増えたり、東ゲート側から徒歩で西ゲートに行くルート(条件あり)が出来たりと、日々変化しています。万博会場に行く前に、万博公式サイト(EXP02025 Visitors)を確認してくださいね。これからもっと暑くなるので、暑さ対策とこまめな水分補給をしてください。
大林 泰子

▶ 多数の原稿を頂き、爽やかに日々を過ごされている様子が伺え幸せを感じます。頂いた原稿は編集会議で大切に校正されて行きます。著作権の問題や次々と使われる新しい言葉にも真の理解が追いついて行けるよう努めて行きたいと思います。
峠田 桂子

▶ 今年は実際に「コンクラーベ(教皇選挙)」が行われたせいか、映画の「教皇選挙」も人気のようです。長期間上映されているので見に行きました。映画の舞台は選挙が行われるバチカン市国のシステイーナ礼拝堂と枢機卿達の宿舎となる聖マルタの家だけで、街の風景や市民は一切出てきません。最初は「中世の物語なのか!」と思ってしまいましたが、パソコンやコピー機が登場するのでまさに今、現代のことなのです。

ミステリアスなストーリーと思いがけない結末にあったという間の 2 時間でした。
高山 純子

▶ 巻頭言で AI による文章の完成度に驚き、原先生から歴史の素材は私たち周辺のどこにでもあると教えられ、高山さんは「尼崎」の歴史を訪ねてそれを実践されていると思いました。今号も多くの学びがありました。
桜井 秀也

▶ 皆様には、今号も素晴らしい原稿をいただき、ありがとうございました。今号では「Z 世代の老人」という言葉と出会い、団塊世代として少しとまどいましたが、反面その懐の深さを楽しんでいる今です。
木下 俊造

皆さまからの投稿をお待ちしています！

1. 原稿について

原稿の長さは、1 ページ(約 1500 字以内)、長くとも 2 ページとし、写真・イラストを挿入される場合は、そのためのスペース(約 120 文字/枚)を本文から減らしてお書き下さい。「私の作品」につきましては、長くとも 1 ページ以内でお願いいたします。

①原稿はテキストメールで下記のアドレス宛にお送りください。

hideyasakurai94@gmail.com 桜井秀也

② 手書きや印刷物で頂く場合、お近くの編集クラブ員にお渡しください。

③写真掲載について

「けやき便り」はウェブ上にも掲載されます。写真付きで投稿される方は、肖像権などの問題が生じないように事前に撮られる方の了解を得ていただくようお願いします。

2. 次の内容を含む投稿はお断りします

① 宗教・政治に関するもの

② 公序良俗に反するもの

③ 一般常識の範囲を逸脱していて、編集クラブが、掲載することを不可と判断したもの。

3. 原稿は、一部変更・修正をすることがありますのでご了承ください

① 紙面のレイアウトを整えるため。

② 編集クラブで気がついたあきらかな誤記や、わかりにくい記述、不適切な表現を避けるため。

4. 投稿される方はお名前を書いていますようお願いいたします